

第九回衆議院議事速記録第二十一號

明治二十九年二月六日(木曜日)午後一時二十一分開議

議事日程 第二十一號 明治二十九年二月六日

午後一時開議

第一 裁判所ノ設立及位置並管轄區域ノ變更ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第三 害蟲驅除豫防法案(政府提出)

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第五 市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第六 公立學校職員退隱料等ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第七 鎮守府造船材料資金増加ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

○議長(楠本正隆君) 諸君、是ヨリ諸般ノ報告ヲ爲シマヌル

(佐脇書記官朗讀)

守屋此助君ヨリ軍艦千島號訴訟事件ニ關シ政府ヘ質問書ヲ提出セラレタリ

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

海上ニ於ケル生命財產救護ニ關スル建議案

提出者 櫻井義起君 櫻井勉君

和田彦次郎君

議員末廣重泰君、戸田熊彦君死去ノ旨届出ラレタリ

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

軍艦千島號訴訟事件ノ質問書

提出者 守屋此助 贊成者 鳩山和夫

外三十三名

軍艦千島號訴訟事件ノ質問

我帝國軍艦千島號曩キニ英國商船バトー會社所有ノシラエンヌ號ト衝突

沈没セルヤ政府ハバトー會社ヘ對シ損害賠償金八拾萬圓請求ノ訴訟ヲ

在橫濱英國領事裁判所ヘ提起シ被告會社モ亦損害賠償金拾萬圓請求ノ反訴

ヲ起シ其反訴手續上ニ付第一領事裁判所第二在上海英國上等裁判所第三英

國樞密院ノ判決ヲ受ケ我ノ勝利ニ歸シタリ然ルニ突然政府ハ八拾萬圓請求

ノ訴訟ヲ英貨壹萬ぼんど即チ我通貨九萬餘圓ヲ領收シ殘額七拾萬圓餘ヲ拋棄シテ示談濟方セリ

一抑八拾萬圓ノ請求額ナルニ何故僅々九萬餘圓ニテ示談濟方セシヤ若シ起

訴ノ理由相當ナレハ何故飽迄モ訴旨貫徹ノ方法ヲ採リ損害ノ回復ヲ計ラ

サリシヤ若シ起訴ノ理由不當ナリシ者ナレハ何故ニ請求額全部ヲ拋棄シ

テ帝國ノ面目ヲ保タサリシヤ

一又該訴訟ノタメ政府カ支拂ヒタル一切ノ費用金額ハ何程ナルヤ

右政府ヘ質問ス

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ會議ヲ開キマスル、茲ニ議員末廣重泰君、戸田

熊彦君ノコトニ就イテ、悲シムベキ御報道ヲ申上ゲマス、而シテ弔詞ノ決議

ヲ請ヒマス、昨日、從來病氣ノ處、藥效ナクシテ兩人共逝去サレマシテゴザ

イマス、即チ茲ニ悲シムベキ御報道ヲ致シマス、而シテ兩人ニ對シテ、弔詞

ヲ贈ル決議ヲ請ヒマス

(佐脇書記官朗讀)

衆議院ハ議員末廣重泰君ノ長逝ヲ追悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス

明治二十九年二月六日

衆議院ハ議員戸田熊彦君ノ長逝ヲ追悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス

明治二十九年二月六日

○議長(楠本正隆君) 右ノ通決議ヲ要シマス

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 即チ全會一致ヲ以テ決シマス

櫻井勉君(十九番) 今日、是ヨリ森林法案ノ委員會ヲ開キマス、御承諾ヲ

請ヒマス

○議長(楠本正隆君) 森林法案ノ委員諸君ハ、退席ノ申出ガゴザイマス、御

承諾ヲ請ヒマス

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 次ハ請暇ノ件ニ就イテ御承諾ヲ請ヒマス、佐藤兵八君

病氣ニ附キ四週間ノ請暇、石原半右衛門君病氣ニ附キ十日間ノ請暇、何レモ

御承認ヲ請ヒマス

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 次ハ質問ノ説明ガゴザイマス

(守屋此助君演壇ニ登ル)

○守屋此助君(百五十六番) 濠場ノ諸君、私ハ今日軍艦千島號訴訟事件ノコ

トニ就キマシテ、政府ヘ質問書ヲ出シマシタカラ、極簡單ニ要領ヲ摘ミマシ

テ、質問ノ趣意ヲ此處デ一應説明致シテ置カウト思ヒマス、其説明ノ趣旨ヲ

述ベマスルニハ、質問書ヲ朗讀致シマシタナラバ、餘程言葉ヲ省クコトが出

來ルト思ヒマスカラ、茲ニ一應讀ミマス

我帝國軍艦千島號曩キニ英國商船バトー會社所有ノシラエンヌ號ト衝

突沈没セルヤ政府ハバ一會社ハ對シ損害賠償金八拾萬圓請求ノ訴訟ヲ在橫濱英國領事裁判所ヘ提起シ被告會社モ亦損害賠償金拾萬圓請求ノ反訴ヲ起シ其反訴手續上ニ付第一領事裁判所第二在上海英國上等裁判所第三英國樞密院ノ判決ヲ受ケ我ノ勝利ニ歸シタリ然ルニ突然政府ハ八拾萬圓請求ノ訴訟ヲ英貨壹萬ぼんご即チ我通貨九萬餘圓ヲ領收シ殘額七拾萬圓餘ヲ拋棄シテ示談濟方セリ

一抑八拾萬圓ノ請求額ナルニ何故僅々九萬餘圓ニシテ示談濟方セシヤ若シ起訴ノ理由相當ナレハ何故飽迄モ訴旨貫徹ノ方法ヲ採リ損害ノ回復ヲ計ラサリシヤ若シ起訴ノ理由不當ナリシモノナレハ何故ニ請求額全部ヲ拋棄シテ帝國ノ面目ヲ保タサリシヤ

一又該訴訟ノタメ政府力支拂ヒタル一切ノ費用金額ハ何程ナルヤ

右政府ニ質問ス

是丈ノコトデゴザイマス、デ、此軍艦千島號ノ事ニ就イテハ、諸君ト吾トガ實ニ口ニスルニ忍ビナイ、又筆ニスルニ忍ビナイコトガ三ツアルノデゴザイマス、三ツアリマスルガ、其三ツノ中ハ、詰リ苟モ一國ノ軍艦ガ餘所ノ國ノ商船トブツツカリアツテ、是デ帝國軍艦ガ沈没シテ、ソレデ其損害賠償金ヲ外國ノ法廷ニ訴ヘテ取ラナケレバナラヌト云フ事柄ハ、イツヤラ人ガ言フタ通ニ、士ガ道ノ真中デ素町人ニ毆ラレ、水呑百姓ニ毆リ仆サレテ、士ノ方カラ膏藥代ヲ請求スルト云フ程ノコトデアアル、ソレデソレモマア過去ツタル失體ノコトデアアル、第二ノ失體ハ、英國ノ領事裁判所ノ法廷ニ於テ、畏多クモ

天皇陛下ノ御名ヲ冒瀆シ、其末 天皇陛下ノ敗訴ト相成ツタ、バ一會社トナツテ、詰ラナイ商賣會社ガ勝ツテ、之ヲ裁判ヲシタノガ一國ノ領事、斯ウ云フ關係ヲ持ツテ來タト云フコトハ、是ハ帝國ノ臣民タル者ハ、吾ト諸君トガ、實ニ 天皇陛下ノ御名ヲ冒瀆シタト云フコトニ就イテハ、慷慨悲憤ノ涙ヲ潑イダコトデアアルガ、是モモウ過去ツタ事柄デアアル、其末ノ第三ニナリマシテハ、如何ナル失體ガアル、如何ニ言フニ忍ビヌコトガアルカト云フト、帝國ノ軍艦ガ沈没シタトキニ、軍艦ガ惡ルモノデアナイ、商船ガ惡ルモノデアアル、沈没ニハ商船ノ過失ガアルノデアアルカラ、軍艦沈没ニ就イテノ損害金八十萬圓ノ賠償ヲ致セト、第一帝國政府ハ訴訟ヲ起シタ、サウスルト對手方ハ十萬圓ノ損害賠償ノ反訴ヲ起シタ、所ガ終局此反訴ハ英國樞密院ノ判決ニ於テ、立派ニ此方ガ勝ツテ、彼ガ立派ニ負ケタノデアリマス、此手續ガ立派ニ勝ツタト云フ途端ニ、青天白日ニ落雷ノ思ヲナシタノハドウデアアル、八十萬圓ノ訴訟ヲ、ソコデ英貨一萬ぼんご、我國ノ通貨ニ引直シテ九萬餘圓、十萬ニ足リナイ金デ和解ヲ致シタ、是ハナンタルコトデアアル、事苟モ外國ニ關係ガアルト云フト、一ノ商賣會社ヲ政府ハ對手ニシテモ、反訴ノ如キハ立派ニ此方ガ勝ツテ、而シテ此方ガ願下ダタノハドウ云フ譯デアアル、此事ニハマサカ三國同盟ノ干渉ハアツタノデハナカラウ、聞ク所ニ依レバ、日本政府トバ一會社トノ間ニ這入ツテ、何か取計ヒシタ、取扱ヲシタ人ガ外國人ニ在ルサウデス、虛カ真カハ知リマセヌガ、其間ニ這入ツタ人ノ所得ノ方ガ、軍艦ヲ打沈メラレタ國ノ取ツタ金ヨリ多イトマデ、世間デハ言ヒ振

ラシタト云フガ、其當時ノ有様デス、ソコデ私ハ政府ニ伺ツテ問フコトハ、八十萬圓ノ訴訟ヲ起シタタメニドウデアアルカト云フト、帝國政府——帝國軍艦ニハ毫末ノ過失ハナイト、斯ウ云ウコトデ訴訟ヲシテ置イタノダ、八十萬圓ノ訴訟ヲ、十萬圓足ラズデ示談シタト云フコトヲ以テ見レバ、帝國軍艦ニ過失ガアツタノデアアルカ、帝國軍艦ニ過失ガアツタタメニ——商賣船トブツツキ合ツタト云フノハ、コチラニ過失ガアツタノカ、コチラニ過失ガアツタナラバ、八十萬圓ノ訴訟ヲ全部放棄シテ仕舞フガ宜シイ、帝國政府ガ一ノ商賣會社ニユスリニ往ツタノデアアルマイ、正理ヲ以テ戰フタメノ訴訟デアアル——正理ヲ以テ戰フ訴訟デアアルナラバ、飽クマデ八十萬圓ノ請求額ハ、正理ヲ以テ堂々ト損害賠償ヲサセテ、利害ノ點ニ於テハ八十萬圓ノ金ヲ取り、帝國ノ面目トシテハ吾ニ過失ハ毫末モ微リセバ、彼レニ過失ガアツタト云フコトヲ明ニ示シテ、帝國ノ面目ヲ保タナケレバナラヌ、是ハ榮辱ノ點ヨリハ

ス様ニ——利害ノ點ニ於テハ、八十萬圓ノ金ヲ取ルベキモノナラバ宜シク取ルガ宜シイ、然ルニ面目利害ト云フコトヲ政府ハソツチノケニシテ置イテ、八十萬圓ノ訴訟ヲ十萬圓足ラズノ金デ濟スト云フコトニ就イテハ、其譯ガ實ニ分ラヌ、ソレ故私ノ問ヒマスルノハ、八十萬圓請求ノ訴訟ヲ僅々九萬餘圓ヲ取ツタノハ、如何ナル譯デアアルカト云フコトヲ明ニ政府ニ説明ヲシテ貰ヒタイ、帝國ノ軍艦ガ誤ガナイ、コチラニ過失ガナイト云フナラバ、飽クマデ

面目ノ上ニ於テ、又利害ノ點カラ觀察ヲシテ、ドチラモ初ノ素志ヲ貫カナケレバナラヌ、前ニ申シマシタ通、吾ニ誤ガアルナラバ、立派ニ男子ヲシク、侍ラシク、帝國ノ面目ノ上ニ於テ、我非ナリト感シタナラバ、八十萬圓ノ訴訟ニ、ソツナ腐ツタ根性ヲ持ツテ居ラズニ、八十萬圓ノ訴訟ヲサラリト放棄シテ仕舞ツテ、如何ニモ惡ルイ、誤ツタコトハ誤ツタト云フノガ國ノ面目デアアル、然ル所ガユスリ同様ナ事ヲシテ、八十萬圓ノ訴訟ヲ、十萬圓未滿ノ金ヲ取ツタト云フ事柄ハ、實ニ私ハ面目ヲ瀆シテ居ルコトデアラウト思フ、サウデゴザリマスルカラ、此訴訟ニ就イテハ、政府ハ如何ナル金ヲ何程使ツテ居タリニ問フノデスガ、此訴訟ニ就イテハ、政府ハ如何ナル金ヲ何程使ツテ居ルカト云フコトヲ問フノデアリマス、ソレハドウ云フ譯カト云フト、此事ハ第六期議會ノ頃デアアツタト思ヒマス、大藏省カラ總テ仕拂ニナツテ居ル金ガ、十二萬幾千圓アツタト覺エテ居ル、其後仕拂ツタ金モマダゴザイマセウ、而シテ其内ニ裁判所ノ保證金ノタメニ納メテアツタモノガ彼ノ内ニアリマスカラ、是ハ海軍省カラ、大藏省ニ定メテ戻ッテ居ル、何シロ仕拂ツテ居ルノハ、十萬ヲ超シテ居ラウト思フ、ソレデ大藏省ガ一遍仕拂ツタモノハ、十二

萬何千ト云フコトヲ慥カ第六期議會ノ頃デアアツタヤウニ記憶シテ居リマス、其後英吉利樞密院ノ法廷ノ判決ヲ受ケタノデアリマスカラ、政府ハマダ仕拂ツタモ居リマセウ、併シモット金モアリマセウガ、實地帝國ノ政府ガ仕拂ツタ金高ハ何程ナルカ、之ヲ明ニシテ貰ヒタイト云フコトヲ、附ケタリニ問フテ置ク、是ダケガ私ノ質問ノ趣意デアリマス

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ議事日程ノ第一、裁判所設立管轄區域變更ニ關スル法律案第一讀會、朗讀ハ省略致シマス

ラシタト云フガ、其當時ノ有様デス、ソコデ私ハ政府ニ伺ツテ問フコトハ、八十萬圓ノ訴訟ヲ起シタタメニドウデアアルカト云フト、帝國政府——帝國軍艦ニハ毫末ノ過失ハナイト、斯ウ云ウコトデ訴訟ヲシテ置イタノダ、八十萬圓ノ訴訟ヲ、十萬圓足ラズデ示談シタト云フコトヲ以テ見レバ、帝國軍艦ニ過失ガアツタノデアアルカ、帝國軍艦ニ過失ガアツタタメニ——商賣船トブツツキ合ツタト云フノハ、コチラニ過失ガアツタノカ、コチラニ過失ガアツタナラバ、八十萬圓ノ訴訟ヲ全部放棄シテ仕舞フガ宜シイ、帝國政府ガ一ノ商賣會社ニユスリニ往ツタノデアアルマイ、正理ヲ以テ戰フタメノ訴訟デアアル——正理ヲ以テ戰フ訴訟デアアルナラバ、飽クマデ八十萬圓ノ請求額ハ、正理ヲ以テ堂々ト損害賠償ヲサセテ、利害ノ點ニ於テハ八十萬圓ノ金ヲ取り、帝國ノ面目トシテハ吾ニ過失ハ毫末モ微リセバ、彼レニ過失ガアツタト云フコトヲ明ニ示シテ、帝國ノ面目ヲ保タナケレバナラヌ、是ハ榮辱ノ點ヨリハス様ニ——利害ノ點ニ於テハ、八十萬圓ノ金ヲ取ルベキモノナラバ宜シク取ルガ宜シイ、然ルニ面目利害ト云フコトヲ政府ハソツチノケニシテ置イテ、八十萬圓ノ訴訟ヲ十萬圓足ラズノ金デ濟スト云フコトニ就イテハ、其譯ガ實ニ分ラヌ、ソレ故私ノ問ヒマスルノハ、八十萬圓請求ノ訴訟ヲ僅々九萬餘圓ヲ取ツタノハ、如何ナル譯デアアルカト云フコトヲ明ニ政府ニ説明ヲシテ貰ヒタイ、帝國ノ軍艦ガ誤ガナイ、コチラニ過失ガナイト云フナラバ、飽クマデ面目ノ上ニ於テ、又利害ノ點カラ觀察ヲシテ、ドチラモ初ノ素志ヲ貫カナケレバナラヌ、前ニ申シマシタ通、吾ニ誤ガアルナラバ、立派ニ男子ヲシク、侍ラシク、帝國ノ面目ノ上ニ於テ、我非ナリト感シタナラバ、八十萬圓ノ訴訟ニ、ソツナ腐ツタ根性ヲ持ツテ居ラズニ、八十萬圓ノ訴訟ヲサラリト放棄シテ仕舞ツテ、如何ニモ惡ルイ、誤ツタコトハ誤ツタト云フノガ國ノ面目デアアル、然ル所ガユスリ同様ナ事ヲシテ、八十萬圓ノ訴訟ヲ、十萬圓未滿ノ金ヲ取ツタト云フ事柄ハ、實ニ私ハ面目ヲ瀆シテ居ルコトデアラウト思フ、サウデゴザリマスルカラ、此訴訟ニ就イテハ、政府ハ如何ナル金ヲ何程使ツテ居タリニ問フノデスガ、此訴訟ニ就イテハ、政府ハ如何ナル金ヲ何程使ツテ居ルカト云フコトヲ問フノデアリマス、ソレハドウ云フ譯カト云フト、此事ハ第六期議會ノ頃デアアツタト思ヒマス、大藏省カラ總テ仕拂ニナツテ居ル金ガ、十二萬幾千圓アツタト覺エテ居ル、其後仕拂ツタ金モマダゴザイマセウ、而シテ其内ニ裁判所ノ保證金ノタメニ納メテアツタモノガ彼ノ内ニアリマスカラ、是ハ海軍省カラ、大藏省ニ定メテ戻ッテ居ル、何シロ仕拂ツテ居ルノハ、十萬ヲ超シテ居ラウト思フ、ソレデ大藏省ガ一遍仕拂ツタモノハ、十二

		長野		前橋		熊谷武藏	
		上田	長野	高崎	前橋		
		信濃	信濃	上野	上野		
新瀉市 中浦原郡ノ内 松島村 日本岡村 茅城島村 沼垂町 小吉村 大郷村 三興野村	更級郡ノ内 桑原村 上山田村	埴科郡ノ内 南條村 埴生村 雨宮縣村	埴科郡ノ内 寺尾村 東福寺村 榮村 川柳村 大岡村 中津村 更級郡ノ内 上水内郡 上高井郡	西群馬郡ノ内 高崎町 京ヶ島村 長野村 倉賀野町 相馬村	西群馬郡ノ内 西野郡 多胡郡 南甘樂郡	東群馬郡ノ内 南勢多郡 佐位郡 那波郡	秩父郡ノ内 大河原村 大間々町 山田郡ノ内 大岡村 元總社村 明治村 白郷井村 小野上村 高山村 駒寄村 金島村
大淵村 石山木村 早通村 林村 鷺登村 横水村	力石村 稻荷山町 村上村 更級村 八幡村	中之條村 坂城村 屋代町 森村 戸倉村 五加村 倉科村	信濃村 信里村 信里村 御厨村 西寺尾村 松代町 西條村 東條村 豐榮村	新高尾村 久留馬村 金古町 倉田村 室田村 桃井村	佐野村 岩鼻村 中川村 塚澤村 箕輪村 國府村 上野村	總社町 豐秋村 小野上村 高山村 伊香保町 駒寄村 金島村	須賀村 川俣村 藤間村 真名板村 中手子林村 比企郡ノ内 松山町 龜井村 七郷村 平村 秩父郡ノ内 大河原村 横川村
和舞町 木戸町 水戸村 庄瀬村 根岸村 新保村	山岡村 山通村 江口村 菱瀨村 津島村 新津町 中島村	戸倉村 五加村 倉科村	真島村 日原村 信里村 今里村 笹井村 青木島村	大類村 塚澤村 箕輪村 國府村 上野村 清里村	大類村 塚澤村 箕輪村 國府村 上野村 清里村	荒木村 茂田村 太田村 手子林村 須賀村 井泉村 共和村 羽生町 關根村 北萩島村	
京							
新瀉							
長岡		三條		新瀉		新瀉	
越後		越後		越後		越後	
南蒲原郡ノ内 帶織村 野原村 尼瀨町 桐原村 瀧村 黒川村 日吉村 岩田村 片貝村 三島郡ノ内 北魚沼郡 古志郡ノ内	坂井村 今町 新瀉村 見附町	中浦原郡ノ内 七谷村 三島郡ノ内 間瀬村	三島郡ノ内 三島郡ノ内 中浦原郡ノ内 五ヶ濱村 船越村 太花野村 中島村 吉田村 漆山村 竹野町村 國山村 木山村 箕砂村 燕町 熊森村 西蒲原郡ノ内 高島村 四ヶ澤村 羽生田村 加茂町 西所村 磯田村 東大崎村 旭村 三條町 南蒲原郡ノ内	新瀉郡ノ内 新關村 矢代田村 横越村 川内村 五泉町 新飯田村 西蒲原郡ノ内 五十嵐濱村 上坂井輪村 金巻村 木巻村 横戸村 中合村	浦村 飯塚村 王寺川村 上岩井村 奥板町 小島谷村 出雲崎町 五千石村 坂井村 今町 新瀉村 見附町	浦村 飯塚村 王寺川村 上岩井村 奥板町 小島谷村 出雲崎町 五千石村 坂井村 今町 新瀉村 見附町	新關村 矢代田村 横越村 川内村 五泉町 新飯田村 西蒲原郡ノ内 五十嵐濱村 上坂井輪村 金巻村 木巻村 横戸村 中合村

(四)

館	城		山		酒	
	秋	盛	遠	宮	酒	田
札	田	岡	野	古	田	田
幌	本	秋	遠	宮	酒	田
稚	本	田	野	古	田	田
増	本	田	野	古	田	田
内	本	田	野	古	田	田
北	本	田	野	古	田	田
見	本	田	野	古	田	田
宗	本	田	野	古	田	田
谷	本	田	野	古	田	田
郡	本	田	野	古	田	田
枝	本	田	野	古	田	田
幸	本	田	野	古	田	田
郡	本	田	野	古	田	田
利	本	田	野	古	田	田
尻	本	田	野	古	田	田
郡	本	田	野	古	田	田
禮	本	田	野	古	田	田
文	本	田	野	古	田	田
郡	本	田	野	古	田	田
天	本	田	野	古	田	田
鹽	本	田	野	古	田	田
郡	本	田	野	古	田	田
苦	本	田	野	古	田	田
前	本	田	野	古	田	田
郡	本	田	野 </tr			

〔政府委員司法次官清浦奎吾君演壇ニ登ル〕

○政府委員(清浦奎吾君) 諸君、本案ハ極テ單簡ナル法案デアッテ、而シテ其理由ヲモ理由書ニ盡キテ居リマスカラ、別段辯明スル程ノ餘地ヲ留メヌノデアリマス、因ッテ簡單ニ要領ヲ搔擧シテ、少シ御話致シテ置キマス、横濱地方裁判所管内ノ八王子區裁判所ヲ東京地方裁判所ノ管轄ニ致シマス、横濱ハ、是ハ明治二十六年法律第十二號ノ結果デアリマス、司法ノ管轄ハ横濱ニ屬シ、行政ノ管轄ハ東京ニ屬シテ居リマス、故ニ諸般ノ事項、就中警察監獄等ノ事務ニ於テ頗ル不便ヲ極メマス、ソレ故ニ横濱ノ管轄セラレテ居ル所ノ八王子區裁判所ヲ東京地方裁判所ノ管轄ニ移スコトヲ以テ最モ便宜ナリト致シマス、第二ニ、此札幌地方裁判所内宗谷郡ノ稚内村ニ、稚内區裁判所ヲ置クコトデアル、是ハ唯今増毛區裁判所ノ管轄セラレテアリマス、本管區裁判所ヨリハ殆ド五十里モ遠隔スルヤウナ有様デアッテ、而シテ道路交通最モ不便ナ處デアリマス、此稚内邊ハ頗ル此近來ニ至リマシテハ漁業杯モ

發達致シマスルシ、諸方ヨリ此漁業期ニ至リマスレバ、頗ル多數ノ人民モ入込シテ參リマスルシ、又禮文、利尻杯ニ於キマシテハ、頗ル盛ナ處デアッテ、而シテ此本管ノ裁判所マデハ頗ル遠隔ニ致シテ居リマシテ、段々此犯罪杯ガアッテモ、殆ド之ヲ裁判スルニモ、管轄區裁判所ノ遠イタメニ不便ヲ極メテ居リマス、デ、成程此訴訟事件カラ申シマスレバ、必シモ一ツノ區裁判所ヲ是非共置カナケレバナラヌト云フ程事件ノ多イ所デアアリマセウケレドモ、是ハ地形上誠ニ已ムヲ得ヌコトデアラウト思フノデアリマス、因ッテ新ニ一ノ區裁判所ヲ一ツレカラ此岬區裁判所ヲ浦河村ニスルト云フコトデアリマスガ、一體一旦定メタル官衙ノ位置ト云フモノハ、大概ナ事情理由デハ容易ニ變更セヌト云フ主義ヲ取ルノデアリマスガ、北海道ノ如キハ未ダ未開ノ地デゴザイマシテ、人文ノ進ムニ從ッテ冷熱盛衰ノ變化ノ甚シイ所デア、今マデ盛デアッタ處モ、鐵道道路、其他港灣等ノ都合ニ依ッテ、寥落タル場所ニナッテ、而シテ是マデ寥落タリシ場所モ大變繁華ニナルト云フ有様デゴザリマス、ソレデ今日ニ於キマシテ、此浦河ノ方ニハ警察署、郡役所杯ノ設置モゴザリマスルシ、岬區ノ方ニ比シテ見マスレバ、浦河ノ方ガ場所モ餘程繁華デゴザリマス、又第一其地方ノ中宜便宜ノ地デゴザリマス、殊ニ此岬區ノ區裁判所ノ方ハ、既ニ廳舎モ朽腐シテ、到底改築シナケレバナラヌ時期ニ迫ッテ居リマスカラ、旁、此浦河ノ方ニ移スト云フコトガ最モ便宜ト認メマスデアリマス、是等ノ事ニ就キマシテハ、其地方ニ於キマシテ最モ希望ヲシテ居ル次第デアリマス、其他ハ登記出張所ノ管轄區域變更ノコトデゴザリマシテ、是ハ專ラ地方人民ヨリノ請願ニ基キ取調ベタモノデゴザリマス、又此中ニハ既ニ衆議院ノ諸君中ヨリ、管轄ヲ變更スベシト云フ案ヲ昨午ノ議會ニモ又本年ノ議會ニモ御提出ニナッテ御方ガアル位ノコトデアリマス、是ハ專ラ此登記請求人ヲシテ、成ルベク便宜ヲ得セシメントスルノ趣旨ニ外ナラヌデゴザリマス、是ハ各村ニ涉リマシテ餘程複雑デアリマス故ニ、何レ特別審査委員會ニ付セラル、コト、考ヘマスカラシテ、其詳細ナルコトハ、委員會ニ於テ御質疑ガアッタナラ十分ニ御辯明ヲ致シマス、右陳述ヲ致シマス

○齋藤長輔君(二百九十九番) 一寸清浦君ニ質問致シマス、唯今御述ベニナリマス國々ノ如キハ、成ルベク便宜ヲ與ヘンタメニ御改正ニナルコト、伺ヒマシタガ、誠ニ御尤ノコトデゴザリマス、尙次ニ御述ベニナリマシタ所デアリマスケレドモ、ソレハ措キマシテ、コ、デ伺ヒタイノハ、西田川郡ノ袖浦村ヲ酒田區裁判所ノ區域ニ御組入レニナッタコトニ見エマス、是ハ酒田ノ區裁判所ノ管轄ニハナクテ居リマセウケ、唯今カラ御改正ニナルノデアリマス、大和村ト云フノガ、人民ニ取ッテ福利ト考ヘマスガ、是ハ何カ理由ガアッテ鶴岡區裁判所ノ管轄ニシタノデアリマセウカ、ソレモ一應御辯明ヲ請ヒタウゴザリマス

○政府委員(清浦奎吾君) 御答ヲ致シマスガ、實ハ此村方ノ極ク小サナ處ニナリマシテハ、其便否ニ於テモ司法省デハ餘程分リ難ウゴザリマス、デ、大概請願書杯ノ出シタモノニ基キマシテ、而シテ之ヲ地方裁判所、及其管轄縣廳

ノ方ニ照會シテ取調ベタ次第アリマスルガ、種々書面モ澤山出テ居リマスシ、隨分混雜ヲ致シテ居リマスカラ、此處一々御答ヲ致シテモ宜シウゴザリマスガ、成ルベクナラバ委員會デドウカ

○佐藤忠望君(二百二十五番) 私モ御伺ヲ致シマスガ、今ノ御説明ニ依ルト、衆議院ヨリノ建議モアリ、又種々ノ願出等ニ依テ區域ヲ御變更ニナルト云フコトデアリマスガ、平地方裁判所ノ管轄内ニ標葉郡ト云フモノガアリマス、是マデハ中村裁判所ノ管轄ニナツテ居リマシタガ、是ハ標葉郡ヨリハ古來ヨリ中村ノ方ニ關係ガアリマスノデ、中村ノ方ガ總テニ便宜ノヤウニ思ヒマス、然ルニ之ヲ平ノ方ニ組入レルト云フノハ、地方ヨリノ請求等ガアツテノコトデゴザイマスカ

○政府委員(清浦奎吾君) 左様デゴザイマス、請求モアリ、且ツ前ニ申シマシタ通り、裁判所並ニ地方廳杯ニ照會ヲ致シテ、管轄ヲ變ヘルト云フコトガ便宜デアラウト云フノニ基キ建議ヲ致シマシタノデス、序ニ申述ベテ置キマスガ、此村方ガ御覽ノ通り、表ニ澤山出テ居リマスルガ、是ハ一寸御覽ニナツテモ見惡クカラウト思フノデス、ソレデ私ガ別ニ寫シタモノデ、黒字ト朱字デ見易イヤウニ拵ヘタモノガアリマスカラ、委員會ニソレヲ其儘提出致シマス、餘程村方ノ小サイ點デゴザリマスカラ、一々申上ゲテモ餘程混雜ヲ致スト考ヘマス

○新井嘉君(四十八番) 説明ヲ求メマス、前橋裁判所ノ區域ノコトモ矢張出テ居リマスガ、利根川ヲ跨イデ、高崎ト前橋トアリマスガ、西群馬ノ北部ニ屬スル部分ハ前橋ノ方ニ組込シデアリマスガ、是ハ單ニ登記請求人ノ便利ヲ營局者ガ圖ルト云フ譯デ、斯ウ云フ變更ヲシタノデスカ、或ハ地形上ノ關係等ニ依ツテ斯ノ如ク致サレタ意味モ含シテ居リマスカ、又當局者ガ登記請求人ノ便利ヲ圖ルメニシタト云フ理由ニ見エテ居リマスガ、其管轄内ノ村方村方ノ登記請求人ガ、サウ云フ希望ヲ裁判所ニ申述ベテ、斯様ニナツタノデスカ、伺テ置キマス

○政府委員(清浦奎吾君) 御答ヲ致シマス、前橋管轄ノ西群馬郡ノ内、桃井村ト云フノガ高崎管轄ノ西群馬郡ニ這入ルコトニナツテ居リマス、是モ前ニ述ベマス通、全ク登記請求人ノ便宜ニ基キ調デゴザイマス、總テ此管轄變更ニ含蓄スルコトハ、人民ノ請願ナリ、裁判所ナリ、縣廳ナリノ申出ニ基キ建議ヲ致シマシタ、全ク登記請求人ノ便宜ヲ圖ツタノデアリマス

○谷澤龍藏君(百八十一番) 一寸質問シマス、此第一ニ行政ト司法トノ管轄ガ異ナルガタメニ此管轄ヲ變更セヌナラヌト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコトデアアル、ドウシマシテモ是ハ變更セネバナラヌコトデアリマスルガ、併ナガラ元ト此神奈川縣ノ如キハ、同シ處デアリマシタカラ、何か少シ都合デモ定テ、何かスルヤウナ都合デ、此前途ニ司法上ノ便利ヲ望ムト云フコトハドウシテモ出來マセヌモノデゴザイマスカ、何かサウ云フコトヲ御取調ベニデモナツタコトガアリマスレバ御説明ヲ願ヒタイ、ソレカラ第二ニハ、此第一ガ此司法、行政管轄ヲ異ニスルカラ不便デアラド、管轄ヲ變ヘラレル位デアリマスカラ、後ノ分ハ定テモウ少モ行政ト司法トノ管轄ヲ異ニスルヤウナ場合ハアリマセヌデゴザイマスカ、此二ツト、ソレカラモウ一ツハ、是ハ司法部デ御答ガ出來マスカ出來マセヌカ少シ分リ兼ネマスガ、此神奈川縣ノ舊管轄デアッタ所ノ此監獄トカ、警察トカト云フヤウナモノ、處分ハ、ドウ云

フヤウナ鹽梅ニ處分スルコトニナツテアリマスカ、或ハ歩合マデモ割戻シテシマツテ……何トカ云フ處分法モ分リマスナラバ之ヲ伺ツテ置キタイ、此三ツノコトヲ……

○政府委員(清浦奎吾君) 御答致シマス、第二ノ御問カラ述ベタ方ガ便宜ト思ヒマスカラ……此行政管轄ト、司法管轄ト、其管轄ヲ異ニシテ居リマスレバ、極メテ不便ト云フコトハ、質問者モ御認メニナツテ居リマスルカ、之ヲ此儘ニシテ必シモ置カレヌト云フコトハナイノデス、不便ヲ忍ビサヘスレバ……サナガラ例ヘバ監獄費ノ上デ申シマシテモ、或ハ一囚一日ニ就イテ二十錢ノ經費ト云フモノヲ一方ノ地方廳カラ一方ノ地方廳ニ拂戻シ付ケヌケレバナラヌカト云フヤウナ不便ナコトモアリマセヌシ、ソレカラ又此警察杯ノ事ニ就キマレテモ、成ル程司法警察ニ就イテハ、檢事ハ孰ノ管轄ヲ問ハヌトハ云フヤウナモノ、神奈川ヲ管轄シテ居ル所ノ檢事ガ、即チ此東京ノ警察ヲ指揮セネバナラヌ杯ト云フヤウナ不便ナコトモゴザリマス、ソレデ不便ヲ忍ベバ、必ズ移サネバナラヌト云フコトハアリマセヌケレドモ、行政管轄ト、司法管轄ト、其管轄ヲ異ニシテ居ルノハ外ニハナイノデ、悉ク此行政管轄ト、司法管轄ト同一ノ管轄ニナツテ居ルノデ、唯此八王子ダケガ二十六年ノ法律第十二號ヲ以テ三多摩ト云フモノヲ東京府ノ管轄ニ屬セラレマシタガタメニ、裁判所ハ其儘橫濱地方裁判所ノ管轄トシテ殘サレテ居ル、ソレ故ニマア司法ト行政トノ管轄ヲ異ニスルト云フ次第ニナツテ居ル、他ニハ司法、行政其管轄ヲ異ニシテ居ル處ハナイ、大概滋賀地方裁判所ハ滋賀縣ノ管轄内ノモノト、斯ウ云フ都合ニナツテ居ル、ソレカラ此管轄變更ノ場合ニ於テ、監獄其他ノ此地方經濟ニ屬シタモノ、處分ハ如何シタカト云フ御尋デゴザリマシタガ、アノコトハ當時ノ法律ニ基イテ、雙方ノ府會、縣會ニ於テツレソレ議定ヲシテ、其處分ヲ著ケルト云フ手續ニナツテ居リタカト私ハ記憶シテ居ルノデス、是ハ内務ノ方ノ管轄デゴザイマスカラ、或ハ確カトハ申上ゲラレマセヌガ、私ノ記憶デハ今御答スル通ニ存シテ居リマス

○議長(楠本正隆君) 御質問モ盡キマシタニ依ツテ、次ハ日程ノ第二、特別委員ノ選舉

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
○吉本榮吉君(八十二番) 此選舉ハ九名ニシテ、議長ノ指名ニ任ジテ、尙ホ過日久保九兵衛君等ヨリ既ニ提出シアル、區裁判所管轄區域變更法律案ハ、此政府提出案ノ日程ニ上ボルマデ見合セテ置イタヤウナ譯デアリマスカラ、今日ハ日程ニハアリマセヌガ、是モ併テ今ノ委員ニ付託スルコトニ致シタイ

(一) 異議ナシト呼フ者アリ
○議長(楠本正隆君) 九名ノ議長指名ニ御異議ナシト認メマス、即チ久保九兵衛君、外三名ノ提出案ヲ同委員ニ付託シマス、次ハ第三、害蟲驅除豫防法案ノ第一讀會——朗讀ハ略シマスル、農商務大臣榎本武揚君

第三 害蟲驅除豫防法案(政府提出)
(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)
第一讀會
第一條 此ノ法律ニ於テ害蟲ト稱スルハ農作物ヲ害スル各種ノ蟲類ヲ謂フ

第二條 驅除豫防スヘキ害蟲ノ種類及驅除豫防ノ方法ハ農商務大臣ノ認可ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム

第三條 害蟲田畑ニ發生シタルトキ又ハ發生ノ虞アルトキハ府縣知事ハ豫メ期限ヲ定メ該田畑ノ作人ヲシテ驅除豫防ヲ行ハシムヘシ

第四條 害蟲蔓延シタルトキ又ハ蔓延ノ兆アルトキ若クハ害蟲田畑以外ノ地ニ發生シタルトキ又ハ發生ノ虞アルトキハ府縣知事ハ市町村費ヲ以テ驅除豫防ヲ行フコトヲ得

第五條 府縣知事ハ前條ノ驅除豫防ノ爲ニ市町村ニ命シテ夫役ヲ市町村全部又ハ一部ノ田畑ノ作人及所有者ニ賦課セシムルコトヲ得

第六條 府縣知事ハ驅除豫防ノ爲ニ必要ナルトキハ市町村費ヲ以テ溝渠ヲ設ケ又ハ農作物、藁、刈草、雜草ヲ拔棄若クハ燒棄スルコトヲ得

第七條 驅除豫防ノ必要ヨリ生シタル損害ニ對シ被害者ハ賠償ヲ要求スルコトヲ得

第八條 土地所有者、管理者又ハ使用者ハ官吏及其ノ指揮ヲ承クル者ノ其ノ地ニ入り驅除豫防ニ從事スルヲ拒ムコトヲ得ス

第九條 府縣知事又ハ郡長ハ必要ナル場合ニ於テハ府縣稅(地方稅)又ハ郡費ヲ以テ第三條第四條第六條ノ費用ヲ補助シ若クハ驅除豫防ニ必要ナル器具ヲ給與シ又ハ貸與スルコトヲ得

第十條 蟲類以外ノ動物ト雖農作物ヲ害スルトキ又ハ害スルノ虞アルトキハ府縣知事ハ農商務大臣ノ認可ヲ經テ此ノ法律ヲ適用スルコトヲ得

第十一條 第三條ノ場合ニ於テ府縣知事ノ命令ニ從ハサル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料又ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第十二條 第六條及第八條ニ依レル官吏若クハ其ノ指揮ヲ承クル者ノ行爲ヲ妨害スル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金又ハ十一日以上二十日以下ノ重禁錮ニ處ス

第十三條 此ノ法律ハ北海道、沖繩縣其ノ他市制町村制ヲ施行セサル島嶼ニ之ヲ施行セス別ニ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

○農商務大臣(子爵榎本武揚君) 本案提出ノ理由ヲ一言致シマス、蟲類ガ農作物ヲ荒シマスルコトハ、恰モ病ガ人畜ヲ損ヒマスルコト同様デアリマシテ、其害ノ種類ニ依リマシテハ、殆ド流行病ニ異ナラヌ程ノ慘毒ヲ逞シウ致シ

マスルコトガ往々ゴザリマスル、故ニ政府ハ明治十八年ニ内務農商務二省ノ連署ヲ以テマシテ一ノ達ヲ發布致シテ、害蟲ノ驅除豫防等ニ關リマスル手段方法ヲ差示シマシタガ、不幸ニシテ十分ノ結果ヲ見ルコトガ出來マセナシト申スモ、畢竟右ノ達ニハ種々ナ缺點ガゴザリマシテ、其一ニ二ノ舉ゲマスレバ、例ヘバ害蟲ノ驅除豫防ヲ農民ガ怠リマシタル節ニ、強イテ之ヲ決行セシムルコトガ出來マセヌ、又ハ驅除豫防ニ必要ナル歩役割付ケ方ノ規定ガゴザリマセヌ、又ハ害蟲ガ蔓延致シテ參リマスル物件ノ拔棄、燒棄等ヲ強イテ行ハセマスルコトガ出來マセヌ、斯様ナル缺點ガゴザリマスルニ就キマシテ、今般本案ヲ發布シテ右ノ缺點ヲ補ヒ、並ニ農産保護ノ實效ヲ收メント欲スルノデアリマス、宜シク諸君ノ御協贊ヲ請ヒマス

○谷澤龍藏君(百八十二番) 一寸、大臣デモドナタデモ宜シウゴザイマスガ、説明ヲ請ヒタイト思ヒマス、此法案ニ就キマシテ、第一此作人杯カラシテ、費用ヲ徵收スルト云フコトデアリマス、ソレカラ町村ノ費用デアサス、又地方稅ノ必要ナ場合ニハ、府縣知事ノ地方稅ヲ出サス、郡長モ出サス、此三ツニナツテ居ルヤウデアリマスガ、ソレデ第一ニ此作人等カラ負擔シマスル、一個デ負擔シマスルノハ、ドノ邊マデノ程度デアスモノデアルカ、又此第九條ノ府縣知事、郡長ハ必要ナル場合ト云フ、此必要ナルト云フコトハ、ドノ位ノ程度カラシテ、地方稅ヲ以テ府縣知事ハ出サスト云フコトニナリマスカ、此凡ソ作人等ガ自辨スルコトニハ、ドノ邊マデノ程度デアアル、又地方稅デ必要トシテ支出スルハ、如何ナル程度ヲ超エタトキニ必要デアルカ、或ハ地租ノ制限ヲ超エタトカ云フ、何トカ程度ガアリマシタラバ、其程度ヲ聽イテ置キタイ

○政府委員(藤田四郎君) 簡單デゴザイマスカラ、是カラ答ヘマス、此作人ニ賦課致シマスルニ就キマシテ

(吉富簡一君) 演壇ヘ出ラレルヤウニ願ヒタイト呼ブ

○政府委員(藤田四郎君) 御答ヲ致シマスルガ、此地方ノ費用、即チ府縣費、又ハ郡費、又ハ町村費ノ割合ノ事ハ、ドウカト云フ御尋デゴザイマスガ、是マデ各府縣ニ於キマシテ此蟲ノ驅除ヲ致シマスルニ就キマシテ、極細密ナル方法ニ依リマシテ驅除ヲ致シマシタ場合ヲ見マシタ所ガ、事實上ニ於キマシテハ、一段歩ニ對シテ凡ソ一圓位ノ金ヲ掛ケマシタラバ、全ク其病ヲ驅除スルコトガ出來ルト云フコトニ、今マデノ各府縣ノ調査ニ依リマスルコトナツテ居リマス、ソレデ至リ極端ノ一端多イトキヲ見マシタゴザイマ

ダラカト云フ考ヲ持ツテ居リマス、ソレデ町村ニ割當テマシテ、幾ラマデノ負擔ヲサセラルカト云フ制限ハマダ確定ハ致シテ居リマセヌガ、此場合ハ今申サウニ、凡ソ一段歩ニ對シテ一圓位ノ費用ヲ掛ケマシタラバ、少ナクモ收穫致シ得ベキ所ノ石高ノ凡ソ二割位ト云フモノハ儲ケ得ルコトガ出來マス、即チ之ヲ相場ニ致シマシテ、一石七圓トシテ二石七圓ト見マシタラバ、凡ソ二割、二圓八十錢位ノ益ヲ得ルヤウニナリマスルノデゴザイマス、併ナガラ此先程御尋ノヤウナ制限ノ事柄ハマダ確定ハ致シテ居リマセヌガ、是ガ極度デゴザイマスルカラ、是ヨリ下以内ニ於テ相當ノ標準ハ拵ヘル

ト云フ考ヲ持ッテ居リマス、又郡費、府縣費ト云フモノニ就キマシテハ、ウ
コヲノ制限ニ關係ヲ及シマス、自然幾何ノ賦課ヲスル場合ガ地方々々ニ依
リマシテ出來ルデゴザイマセウ、固ヨリ是等ノ事ハ地方ノ狀況ニ依リマスル
コトデゴザイマスカラ、未ダ是ダケノモノヲ郡費テ出スト云フコトノ規定ハ
未ダ定メナイ、ソレヲ定メマスルハ、時々伺ノ上決スルヤウニナラウト思ヒマ
ス、左様御承知ヲ願ヒマス

○喜多川孝經君(百六番) 私モ、一寸、此案ニ就イテ御尋致シマス、此案ハ至
極結構ナ案デゴザイマスカラ、此案ヲ見マスルト、唯蟲害ダケノ動物性ノ害
ヲ豫防シ、及驅除スルヤウニナッテ居リマス、病害ニシテモ殆ド蟲害ト相均
シキモノガアルヤウデゴザイマスノニ、病害ヲ驅除シ豫防スル方法ハ加ッテ
居リマセヌノハ、ドウ云フ一體コトデゴザイマス

○政府委員(藤田四郎君) 御答ヲ致シマス、此法律ハ蟲害ノ事デゴザイ
マシテ、或ハ其他植物性ノ病ノモノニ於キマシテ害ヲ致スコトモゴザイマセ
ウガ、是等ノコトニ就キマシテハ、未ダ研究ノ途モ盡シテ居リマセズ、又驅
除豫防ヲスル方法モ十分明ナモノモゴザイマス、自ラ是等ノ事
ハソレ等ノ試験ヲ經マシタ上、或ハ必要ガ參リマシタラ、自ラ法律ノ制定ヲ
必要トスル場合モアルダラウト思ヒマス

○眞下珂十郎君(二百四十二番) 質問致シマスルガ、此蟲害ト申シマスルモ
ノハ、多ク各縣アタリデゴザイマシテモ、先ヅ其田方ニ生ズル所ノ稻蟲デア
ルトカ、或ハ何デアルトカ、隨分澤山ゴザイマセウガ、田方ニ生ジマスルモ
ノヲ以テ多シトスルト云フコトデアアル、畑方ニ生ジマスル近頃桑畑ニ尺蠖ト
云フモノガ生ジテ、養蠶ヲ致スモノガ大層難澁ヲ致ス有様デアアル、此養
蠶ヲ致シマスル所ノモノハ、年々歳々尺蠖ヲ拾取ッテ居リマシテカラ、多分
ノ費用ガ掛カルノデゴザイマス、又此田方ニ生ジマスル所ノ稻蟲デアルト
カ、或ハ何トカ云フヤウナモノハ、隨分地方稅ヲ以テ之ヲ驅除致シタト云フ
コトモゴザイマシタケレドモ、其尺蠖ノ如キモノニ至リマシテハ銘々取ル
ト云フ如キコトニナッテ居ルデゴザイマスルガ、此害蟲ト云フモノニナッテ
參リマスルト、詰リ畑方ニ生ジマスル桑ニ著キマス尺蠖ト云フモノモ、即チ
是ニ籠ッテ居ル御考デゴザイマセウカ、或縣ノ知事ノ如キハ、是ハ自分デ取
ルヨリ外ニ仕様ハアルマイ、稻蟲ノ如キハ收入ガ多イカラ地方稅ヲ要スルモ
可ナリデアアルケレドモ、詰リサウ云フモノニマデ出來ヌト云フコトヲ言ッテ
居ル、一言御尋ヲシマス

○政府委員(藤田四郎君) 御答ヲ致シマス、唯今尺蠖ト申シマスノデスカ、
桑畑ニ生ジマス蟲デゴザイマス、是等ノヤウナモノニ就キマシテハ、地方
ノ狀況ニ依リマシテ、或ハ町村ノ負擔ニ歸スルコトモアルデアリマセウガ、
元ト三條ニモ規定シテゴザンスル通り、先ヅ第一ニ義務ヲ即チ作人ニ負ハシ
テゴザンスルカラ、自ラ其地方ノ狀況ニ依リマシテ、町村全體ニ負擔セシム
ルノハ或ハ穩カデナイヤウナモノニ就キマシテツレ、今御話ノヤウニ、個
人ヲシテツレ、驅除セシメルト云フ場合モ起ルデアラウト思ヒマス、併シ
其事柄ガ今御話ノヤウナ鹽梅ニ、著シキ場合ニナッテ來タリシテ、到底作人ノ
ミノ力デアルコトガ出來ナイヤウナモノガアリマストキニハ、自然町村ナリ、
又町村ノ負擔ニ堪エナイコトガ起ルデゴザイマセウ、或ハ郡費、府縣費ヲ以

テ補助スルコトモ起ルダラウト思ヒマス

○芹塚省三君(百十二番) ワシモ一ツ質問ヲ致シマス、第四條ニ田畑以外ノ
地ニ發生シタルトキ又ハ發生ノ虞アルトキハ、市町村費ヲ以テ驅除、豫防ヲ
セネバナラヌト云フコトガアリマス、果シテ田畑以外ノ地ニ於キマシテ則チ
官有森林ノヤウナ場所ニ害蟲ガ發生ヲシ、或ハ蔓延ヲ致シマシタ際ニハ、是
モ矢張市町村費ヲ以テ驅除、豫防ヲセネバナラヌト云フコトデアリマセウカ、
現ニ我縣ニ於キマシテモ六七年前ナドニ於キマシテ、松山ニ彼ノ松蟲ト云フ
モノガ澤山發生ヲ致シ、ソレカラ大變ニ諸山ニ蔓延ヲ致シマシテ、松山杯ノ
繁茂シテ居ルノモ殆ド枯死スルト云フ位ナ景況ヲ呈シタコトモアルノデゴザ
イマス、ソレニ依リマシテ大變我縣杯ニ於キマシテハ、一時一ト方ナラナイ
心配ヲ致シ、一ト方ナラナイ費用ヲ出シテ之ガ豫防ニ盡力ヲ致シタコトガゴ
ザイマスガ、果シテ將來ニ於テモ此等ノ事ハナイトモ保證サレマス、官有地ナド
ハ、官費ヲ以テ豫防、驅除ヲ致スト云フノコトデゴザイマセウカ、ソレニモ
拘ラズ市町村費ヲ以テ驅除、豫防ヲセネバナラヌト云フコトデゴザイマセウ
カ、一應伺ッテ置キタイ

○政府委員(藤田四郎君) 御答ヲ致シマス、此案ハ——此條ハ府縣知事ノ隨
意ニ出ヅルヤウナコトニナッテ居リマシテ、素ヨリ此蟲ガ田畑ニ關係ヲ及ボ
サナイ蟲デアレバ驅除ハシナイノデゴザンスルガ、山林ナリ其他ノ所ニ於キ
マシテ、田畑以外ノ所ニ起リマシタモノデ、田畑ニ害ノアル蟲ガ起リマシタ
時ニハ、勢ヒ相當ノ防ギヲセネバナラヌ、其場合ニ於キマシテ或ハ町村費ヲ
以テ之ヲ豫防スルト云フコトモアルデアリマセウ、又官有地ナドニ於キマシ
テサウ云フモノガ起リマシタト云フヤウナコトデゴザイマスレバ、ソレハ官
有地ニ於キマシテモ、人ノ困ルコトヲ拾テ、置クト云フ譯ニモ行キマス、
デアリマスカラ、ソレハ蟲害ニ依リマシテハ、相當ノ防ギ方ヲ付ケルコト
ハアルデアリマセウト思ヒマス

○議長(楠本正隆君) 日程ノ第四委員ノ選舉ニ移リマス

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
○田中島雄君(百二十八番) 議長指名
(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 前例ニ從ッテ議長ノ指名ニ御異議ナシト認メマス——
次ハ第五、市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法案ニ移リマス——委員長
代理佐竹正詮君

第五 市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

(佐竹正詮君演壇ニ登ル)

○佐竹正詮君(九十番) 本日ハ委員長ノ肥塚君ガ出席サレマセヌデゴザリマ
スカラ、理事ノ金岡君カラ御報告アル答デゴザリマシタケレドモ、金岡君ハ
少數者ノ意見ニ就イテノ御都合ガゴザリマスルタメニ(サツ)バリ分リマセヌ
ト呼フ者アリ「大聲デ願ヒマス」ト呼フ者アリ(私カラ御報告ヲ申スコト

ニ致シマス、此市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法案ニ就キマシテハ、既ニ委員長、理事ノ選舉ノ事ハ過日議長ヨリ御報告ニナリテ通テゴザイマスガ、其此法案ニ就キマシテ、委員會ハ兩度開キマシテゴザイマス、而シテ既ニ御配付致シマシタ此報告ノ通りニ、詰リ第五條ノ朱書ノ通、及第六條ニ於テモ朱書ノ通ニ修正致シマシタ次第デゴザイマス、其第五條ノ「若クハ學校編制ノ變更」ト云フ文字ヲ挿入致シマシタノハ、マア原案ニ依ッテ見マスト、唯此學校ノ廢止ニ依ッテ他ノ學校ニ轉任シタル場合、又ハ同一ノ理由ニ依リマシテ退職シタル後ニ、三十日以内ニ他ノ學校ニ就職シタルモノハ、勤績ノ例ニ依ルト云フ趣意デアッタノデゴザイマスルガ、サウシマスルト此學校編制ノ變更等ニ依ッテ他ニ轉任ヲシマシタリ、或ハ退職致シマシテ、三十日以内ニ他ノ學校ニ就職致シタト云フヤウナ者ニハ、此學校廢止等ニ依ッテト同シ理由デアリナガラ、此恩澤ニ浴スルコトガ出來ナイト云フ不公平ナ場合ガ生ジマスルニ依ッテ、ソレデ學校編制ノ變更ト云フヤウナ場合ニ他ニ轉任シマシタリ、或ハ退職シタル後ニ他ノ學校ニ就職致シマシタ者ハ、矢張學校廢止ノタメニ轉任シ、若クハ他ノ學校ニ就職シタル者ト同様ニシナケレバナラヌト云フ趣意ヲ以テ、此五條ハ修正致シマシタノデゴザイマス、ソレカラ此三十日トアリマスノヲ、六十日トシマシタノハ、何分三十日デハ餘リ短カ過ギルト云フ點カラ、他ノ學校ニ就職シマス場合ガ餘リ短イタメニ、之ヲ六十日トシタ方ガ宜シト云フ意見デ、斯ノ通修正致シマシタノデ、ソレカラ第六條ノ方ハ、原案ニハ此兵役ヲ終リタル後ニ、更ニ元ノ學校デゴザイマス、同一ノ學校ニ在勤シタトキニハ、前後ノ在職年數ハ矢張勤績ノ年數ニ通算スルト云フコトニ規定ニナリテ居リマスケレドモ、ドウモ此兵役ニ服スル教員ハ、御承知ノ如クニ師範學校ヲ卒業致シタ者デゴザイマスレバ、僅ニ六週間位ノ兵役デ済ミマスケレドモ、其他ノ教員ニナリテ見マスト、モット長イ、矢張當リ前ノ兵役ニ服サナケレバナラヌト云フコトニナリテ居リマスカラ、長ク兵役ニ服シテ居リマス間ニ、元ト奉職致シテ居リマシタ學校デハ、其教員ノ不足ヲ補ハナケレバナラヌト云フ場合ガアラウト思フノデ、ソレガタメニ兵役ニ服シマシタ教員ガ歸ッテ來マシタ際ニハ、既ニ其不足ヲ補ッテ、別段ニ教員ヲ雇入レテアルト云フ場合ニハ、直グニ舊トノ者ヲ入レルト云フコトハ出來ナイノデアリマスカラ、詰リサウ云フ場合ニハ、一旦兵役ニ服シテ歸ッテ來マシタ教員ニシテ、他ノ學校ニ就職致シマシテモ、矢張年功加俸ヲ給スルト云フコトニ致サヌケレバナラヌト云フ意見カラ、則チ此同一ノ學校ニ再任ト云フ文字ヲ削ッテ、唯其所ニ期限ヲ附シタルノデス、兵役ヲ終ッテ後ニ九十日ニ就職シタル時ハ、前後ノ在職年數ヲ前ノ勤績年數ニ計算スルト云フコトニ致シタルデアリマス、ソレカラ此所ニハ現レテ居リマセヌガ、別ニ少數者ノ意見トシテ出テ居リマシタ、即チ此第一條ニ就イテハ、委員會ニ於テモ頗ル議論ノアツタコトデゴザイマシタ、故ニ委員會ノ模樣ヲ御報道致シテ置カウト思ヒマス、此第一條ノ「同一學校ニ勤績スル者云云」ト云フコトニ就イテ、委員中ニ於テハ矢張此同一學校ト云フ文字ハ取ッテ仕舞ハナケレバ不都合デアルト云フ議論ガ出マシテアリマシタガ、遂ニ委員會ノ多數ハ、假ニ教員社會ノ實況ヲ觀察シテ見マスト、免角種々ナ事情カラ同シ學校ニ奉職ヲセヌデ、始終轉勤ヲスルト云フヤウナ弊ガ目下行レテ

居ルタメニ、ドウモ同一學校ニ勤績スル者デナケレバ年功加俸ヲ給スルト云フコトハ、同一學校ニ勤績スル者ニ限ルト云フコトニシマセヌケレバ、益、此弊ガ多クナルト云フ考デ、即チ當局者ノ見ル通デ、委員會ノ多數ハ此原案ヲ可ト致シタルデアリマス、即チ以上申述ベマシタノハ委員會ノ結果デゴザイマスカラ、此段御報道致シマス

○田中島雄君(百二十八番) 少々委員長代理ニ御質問申シマスガ、此法案ノ第十條ニ在リマスル所ノ本年ノ十月ヨリ之ヲ施行スルト云フニ就キマシテハ、金額ハ何程ヲ要シマスカ、之ヲ一ツ、ソレカラモウ一ツハ、是ハ五箇年目毎ニ増加シテ往クコト、存ジマスガ、詰リ之ヲ三回施行シテ、是ヨリ十五箇年タツタ時ニナリテ、何程ヲ國庫ヨリ補助スルコトニナリマスカ、ソレヲ……

○佐竹正詮君(九十番) 御答致シマス、其邊ノ事ハ、委員會ニ於テモ質問モアリマシタガ、委シク記憶ハ致シマセヌガ、十月一日ヨリ施行致シマスル際ニハ、九万幾千圓カ要スル管デゴザイマス、尙委シイコトヲ御尋ニナリタケレバ、政府委員ニ御質問ニナリタイ、ソレカラ此滿十五箇年勤績スル當時ニ方リマシテ要スル金額ハ、六十六万幾千圓ト記憶致シテ居リマス

○田中島雄君(百二十八番) 宜シイ

○議長(楠本正隆君) 此案ニハ少數者ノ意見ガゴザイマス、金岡又左衛門君(金岡又左衛門君演壇ニ登ル)

○金岡又左衛門君(百六十番) 諸君、私ハ少數者ノ意見ヲ報道致シマス、少數者ニ於キマシテハ、豫テ御手許ニ御配付ニナリテ居マスト、第一條ヲ修正致シタルデゴザイマス、サウ致シマシテ、第一條以下ノ事ハ則チ委員會ノ修正ニ於テ決シタ通りデアアルノデゴザイマシテ、即チ此第一條ノ「正教員及准教員ニシテ五箇年以上同一學校ニ勤績スル者ニハ」ト云フ、即チ其「同一學校ニ」ト云フ五字ヲ削除スルト云フ、斯ウ云フ意見デゴザイマス、而シテ委員會ニ於キマシテ、政府委員ハ此案提出ノ理由トシ、目的トスル所ヲ御述ニナリタ所ヲ承ハリマスレバ、一ツノ目的ガアルト云フコトデアアル、其一ツノ目的ハ、此法ヲ實施シテ一般ノ小學校教員ヲ優待シテ、往クミミハ將來ノ子弟ヲシテ、小學校教員ニナリタイト云フ精神ヲ誘導スルト云フコトデアアル、今一ツハ、成ルベク教員ヲシテ同一學校ニ奉職セシメタイト云フ、此二ツノ希望ヲ以テ、此案ヲ提出シタト云フコトデアリマシタ、而シテ此第一條ヲ見マストレバ、政府委員ガ言ハレル所ノ一般ノ教員ヲ優待スルト云フコトハ少シモナクシテ、之ヲ同一學校ニ五年以上勤績シテ居ル者ニ限ッテ、此年功加俸ノ金ヲ遺ルト云フコトデアアル、シテ見レバ、決シテ一般ノ小學校教員ヲ優待スルモノデナイト云フコトハ明カデアアルト思フノデス、ソレカラ又政府委員ハ、小學校教員ノ屢々轉任スルノハ甚ダ憂ヘラレテ、其轉任スル原因ト云フコトニ就イテモ御述ニナリマシタガ、成ル程此轉任ト云フコトニ就イテハ色々其原因モアリマセウガ、是ハ大別シテ見タラバ凡ソ二ツデアラウト思フ、其第一ニハ、教員ガ自働的ノ運動ニ出テ、轉任スルモノト、又ハ已ムヲ得ザル結果ノタメニ轉任ヲ命ゼラル、モノトノ二ツニ歸スルデアラウト思フ、而シテ自働的ニ出ルトハドウ云フコトカト云フト、例ハバ或ル學校ニ居リマシテ、到底此學校ニ長ク居ッテモ増給スルト云フ見込ガナイ、ソレ故ニ自ラ運動ヲシテ、他ノモウ少シ月給ノ宜イ所ニ出ヤウト云フ考デ自ラ増給ノ口ヲ求メマシテ、サ

ウシテ轉任スルコトハアル、斯様ニ致シマシテ甲カラ乙へ轉任シ、乙カラ丙ニ轉任致シマシテ、例へば元ノ學校ニ居リマシタトキニ七圓ノ月給テ居...

ハマスル、アナタノ御説デハ、何レノ學校ニ轉ジテモ自儘勝手ニ隨分其一年位居テ屢々轉任スル者ガ多イ、學校教員ト云フモノハ免角尻ノ落著カヌモノ...

○金岡又左衛門君(百六十番) 答辯致シマスガ、唯今中村君ハ教員ハ猥リニ我儘勝手ニ轉任スルト云フコトヲ申サレマスガ、私ガ考ヘマスニハ、サマデ...

○佐々木政次君(七十五番) 木員ハ御尋致シタイ、此少數者ノ意見ノ如ク、同一學校ノ勤績ノミナラズシテ、一般ノ勤績ト云フモノニ年功加俸ヲ支給ス...

○金岡又左衛門君(百六十番) 御答致シマスガ、少數者ノ意見デハ、此第五條トハ矛盾セヌ積リデ、矢張第五條ハ是テ宜イ、ト云フ者ハ第五條ハ學校ノ廢...

○小室重弘君(八十八番) 私ハ此處デ、登壇スル必要アリマセヌカラ... ○議長(楠本正隆君) マダ質問中デアリマス

○河野岩吉君(百七十二番) 少數者ノ御意見ニ就キマシテ質問致シマスガ、同一ノ學校デナクテ宜イト云フコトカラシテ考ヘルト、例へば九州ノ學校...

○中村克昌君(百七十一番) 少數者ノ意見ト云フコトニ就イテ御尋致シマス、何レノ學校へ轉任シテモ年功加俸ヲ與ヘルト云フ御説ノヤウニ承リマシタ...

○中村克昌君(百七十一番) 少數者ノ意見ト云フコトニ就イテ御尋致シマス、何レノ學校へ轉任シテモ年功加俸ヲ與ヘルト云フ御説ノヤウニ承リマシタ...

○議長(楠本正隆君) ツレハ逐條ニ及ンデ御意見ヲ... ○小室重弘君(八十八番) 私ハ此處デ、登壇スル必要アリマセヌカラ... ○議長(楠本正隆君) マダ質問中デアリマス

テ即チ此年功加俸ヲ與ヘルト云フコトニナル、サウスルト是ガ倍勤續ト云フコトガ實際デ行ハレルカ、辭表ヲ出シテ辭シタト云フタモ、即チ之ニ年功加俸ノ恩典ヲ蒙ルコトガ出來ナイコトニナルヤウニ見ユル、ソレ等ニ就イテハドウ云フ御考デアリマスカ、如何ナル遠方デモ實行ガ出來ルト云フノデアリマスカ

○金岡又左衛門君(百六十番) 辭職シタモノハ、勤續年限ガ切レル、ソレカラ他ノ學校ヘ出レバ新ニ數ヘナケレバナラヌ

○河野岩吉君(百七十二番) 尙御尋申シマスガ、同一學校デ勤メタイト云フテモ、郡長ヤ知事ガ勤メサセナイ場合ガアル、斯ウ云コトデアルガ、是ガ若シモ知事ヤ郡長ガ、此五字ヲ削レバ專斷ハナイト云フ御考デアアルカ

○金岡又左衛門君(百六十番) イヤ、ソレ故ニアナタノ仰セラレ、如ク、同一學校ニスルト、知事ヤ郡長ガ、其學校ニ居タクテモ、即チ教員ノ配置上、已ムヲ得ズ轉任スルコトガアル、甚ダ教員ニ對シテハ殘酷ノ法律ト言ハナケレバナラヌ、ソレ故ニ同一ノ學校デナクテモ、勤續シテ居ル以上ハ、即チ恩惠ヲ與フルト云フノデス

○河野岩吉君(百七十二番) 併ナガラ郡長ヤ知事ガ、之ヲ專斷デ免職シタトキハドウスル、ソレガ分ラヌ

○金岡又左衛門君(百六十番) ソレハ郡長カ知事ニ聞カナケレバ分ラヌ、サリナガラ免職スルト云フコトナラバ、教員ノ職務ヲ辱カシムル行爲ヲシタカラ、其者ニ向ッテ……

○河野岩吉君(百七十二番) モウ宜シイ、分リマシタ

○木村誓太郎君(二百七十番) 政府委員ニ質問致シタイ、第八條ノ精神ヲ伺ヒタイ、第八條ニ依ルト、教員ノ寄付金ト云フモノハ或ハ禁ジテ居ルガ如ク見ユル、市町村或ハ町村學校ノ組合、又ハ區カラシテ寄付ハ是非セイト云フコトナラバ、教員本人自ラガスルハ差支ナイト云フ精神デアアルカ、少シ解釋ニ苦シムカラ御尋シマス

(政府委員文部省普通學務局長木場貞長君演壇ニ登ル)

○政府委員(木場貞長君) 木村君ニ御答致シマス、今日市町デ支給シテアル實際額ハ、辭令面ノ俸給額ト往々違ッテ居ルト云フコトヲ屢々發見シマス、ソレデ年功加俸等ヲ與フル場合ニハ是非絶タナケレバナラヌ因テ此條ヲ設ケマシタ次第デゴザイマスガ、寄付ニ依リマスルト種々ノ弊ガ出タガルカラ、勅令、省令ノ規定ニ依ッテ許スコトハ格別、サモナイ以上ハ禁ズル精神デアリマス、寄付ヲ許シテモ宜イ場合ハ、勅令、省令ヲ以テ明ニ定ムル積リデアリマス

○折田兼至君(百二十一番) 一寸政府委員ニ質問致シマスガ、本員モ第一條ノ同一學校ト云フコトニ就イテ、御尋ヲ致シマスガ、他府縣ノコトハ存シマヒエガ、鹿兒島縣下ニ於キマシテハ、大抵學校ノ經濟ト云フモノガ、一村一學區トシテ經濟ヲ持ッテ居ル處ガ多イ、一村ニ少ナイ處モ凡ソ四箇所、五箇所、多イ所ハ八九箇所モ學校ガアル、其一學區内ニ教員ガ、或ハ各學校ノ經濟ノ都合ヤ彼是デ、又ハ教員ノ事情等ニ願ミテ、一年又ハ二年ツツシテ、轉勤ト云フコトデハナイイガ、交代見タヤウニ、甲ノ學校ノモノガ乙ノ學校ニ行キ、乙ノ學校ノモノガ丙ノ學校ニ行キ、丙ノ學校ノモノガ甲ニ行クト云フ

ヤウナ方法ヲ執ッテ居ル處ガアル、此法律ニ依ルト、同一ノ學校デアリマセヌ斯様ノモノハ、遂ニ此法律ノ恩惠ニ與ルコトガ出來ナイト云フ結果ニナラナケレバナラヌ、而シテ此教員ノ配置ハ、教員ガ自ラ望シテスルノカト云フト、決シテサウデナイ、即チ此事情トカ、或ハ經濟ノ都合ヨリシテ、其學校ヲ監督スル所ノ村役場ノ稟申ニ依ッテ、當局者ガ郡長ガ右様ノ交代勤務ト云フコトヲサセル處ガアリマスガ、サウ云フ處ハ如何ナサル積リデアリマスカ、ソレヲ御尋申シマス

○政府委員(木場貞長君) 御答致シマス、今ノ御話見タヤウナ事柄ノアルハ、最モ教育上忌ムベキコトデアアルカラ、ソレ等ノ弊ヲ脱シタイト思ヒマス、全ク進歩ノ途ヲ閉ヂマシテハ、勵ミ上ニ害ヲ與ヘマスカラ、轉任ハ禁ズルデハナイケレドモ、全ク轉任サセヌヤウニ方針ヲ取リタイ、必要モナイニ轉勤スルハ、教育上ニ少カラヌ害ヲ與ヘマスカラ、左様ナコトハナイヤウニ致ス精神デゴザイマス、從ッテ是迄ノ學校ニ於キマシテ、若シ同シ區域内ニ於キマシテ轉勤シタ人ガアルナラバ、氣ノ毒デアアルガ、此恩典ヲ受クルコトガ出來マセヌ

○折田兼至君(百二十一番) 政府委員ノ御答辯ノヤウニ、或ハ轉勤ヲサセルト云フコトハ、私共モ教育ノ進歩上害ノアルト云フコトハ存ジテ居リマスガ、或ハ其地方ノ當局者モ前申スヤウニ、一學區内ノ事情ドウシテモ轉勤サセナケレバナラヌト云フコトデ、我鹿兒島縣ノ如キハサウ云フ状態ニナッテ居ル、併シ當局者ハ如何様ノ事情ガアルデモ轉勤ハ決シテサセナイト云フ御考デアアルカ、是マデノ轉勤ハ決シテ自ラ望ムノデナク、市町村ノ當局者ガ色々ノ學校ノ事情カラ必要ト認メテ、仕來ッテ居ルノデアアルガ、ソレハ許サヌト云フノデアアリマスカ

○政府委員(木場貞長君) 御答致シマス、轉任ノ必要ヲ感シマスコトハ、俸給ノ關係ヨリ起ル場合ガアル、ソレデ少ナクモ是又ノコトハ、年功加俸法案ノ結果トシテ防ギ得ル——九分通り防ギ得ル、斯ウ云フ積デアリマス

○議長(楠木正隆君) 最早大體論ニ移リマス、反對贊成ノ兩名ノ通告ガアリマス、田中鳥雄君

(田中鳥雄君演壇ニ登ル)

○田中鳥雄君(百二十八番) 諸君、私ハ此市町村立小學校教員年功加俸國庫補助——此法案ニ大體ニ就イテ反對スルモノデアアル、實ニ此法案ハ過般モ文部大臣自ラ登壇サレマシテ、要領ノ御說明モアリマスシ、又委員會ニ於キマシテモ、大體ニ就イテ反對ノ御論ト云フハ、速記録ヲ調ベテ見マシテモナイカト承知シマス、左様ナル所ノ大ニ諸君ノ御贊成ノアル所ノ案ニ對シテ、私ガ反對ヲ致スルハ甚ダ如何シキコトニハ考ヘマスケレドモ、併シドウシテモ一言愚見ヲ陳述シテ、諸君ノ御考案ヲ請ハナケレバナラヌカト私ハ考ヘマスカラ、不辯ナガラ愚見ノ在ル所ヲ述ベ置キマス、此本案ニ對シマシテ文部大臣ノ演說セラル、所ノ要旨ト云フモノハ、目下正教員ガ二万七千五百人デ、大約二百人位ノ教員ノ缺乏ヲ感シテ居ル、之ヲ防グノ一ノ方法ニナリハシナイカ、次ニハ唯今モ頻ニ御辯論ノアリマシタ所ノ、ドウモ教員ガ轉校シテ困ル、成ルベク同一ノ校ニ勤續サシタイ、是ガ一ノ理由、モウ一ツハ、小學校ノ教員ヲ優待致シテ、成ルベク教員ノ品位ヲ高メルコトニ致シタイ、斯ウ云

フノガ——此三點が最モ此案ノ主要ナルモノデ、此年功加俸補助法案ガ出タ
 モノト考ヘル、私ニ於キマシテモ、此三ツノ缺點ト云フモノハ、或ハ今日ア
 リマセウト考ヘル、併シ其方法ニ至ツテハ、此法案ハ甚ダ當ヲ得テ居ラヌモ
 ノト私ハ考ヘル、何故ナレバ、私ガ一言述べマシタナラバ、諸君モ御同感デ
 アラウト思フガ、凡ソ子弟ノ教育タルモノハ、其父兄タルモノ、義務——教
 育スベキ義務ト云フモノガアル、第二ニハ町村ト云フモノハ、今日ハ昔ノ町
 村トハ違ヒマシテ、町村ノ自治ト云フモノガアリマセウ、自治即チ獨立ト云
 フモノガアル、此父兄ニ於テハ子弟ヲ教育スルノ義務ガアリ、町村ニ於テハ
 町村ノ獨立ノ精神ガナクテハイカヌ、然ル所、此案タルヤ町村ノ獨立ヲ妨
 ルト云ツテモ宜イ、何程カ獨立ノ精神ヲ失ハセル形ガアル、又父兄ニ於キマ
 スト云フト、子弟ノ教育ヲスル義務ヲ何程カ薄ラグルト云フ嫌ガアルト考
 ル(ドウ云フ譯デト呼フ者アリ)ドウ云フ譯ト云フト、町村ノ獨立トナレ
 バ、決シテ他ノ干渉ヲ受ケナイ、第一ニ何ガ獨立デアアルト云フト、町村デ
 役場ヲ拵ヘテ役人ガアル、或ハ學校ヲ拵ヘテ學校ノ教員ガアル、其教員ノ費
 用ヲ出スト云フノハ、最モ獨立ノ骨子トナルモノデアアル、然ル所國庫カラ何
 ノ裕餘ノ金ガアツテ、斯ウ云フ補助ヲ致スノデアラウト私ハ思フ、是ハ則チ
 町村ノ獨立ヲ傷ケルモノト私ハ信ズル、然ラバ則チ前ノ文部大臣ノ言フ三ツ
 ノ缺點ガアツテ、如何ニシテ此缺點ヲ救フテ宜イカト云フト、他幾ラモ良法
 ガアル、即チ如何ナル法カト云フト、其町村ニ於キマシテ、學校資本金ヲ募
 集シテ、十分ニ教育スルノ力ト云フモノハ附ク、茲ニ至リマスト云フト此說
 明ニアリマス所ノ町村ノ力ノ如何ヲ見ルト云フトハ、惜イカナ文部省ニ於
 テ未ダ御穿鑿ガ足リナイト私ハ思フ、此小學ノ事タルヤ、明治ノ初年ニ於キ
 マシテ始メテ布カレ、而シテ其當時ニ於テ、各地ニ於テ致々汲々トシテ學校
 ノ資本金ヲ募集シタ、然ル所ガ、其當時ハ今日ノ如クニ產物ガ開ケズ、又
 一方ニ於テハ、地租改正ト云フ一大困難ナ所ノ、費用ノ非常ニ掛カル、年月
 ヲ要スル仕事ガ起テアル、其當時ニ於テモ可ナリニ學校ノ資本金ハツレ
 募集シテ今出來テ居リマス、或ル部分ニ於テハ出來ナイ町村ガアル、是ハ何
 ダト云フト、其當局ノ——其町村ノ吏員、或ハ有志者、次ニハ郡長、縣知事
 ト云フ人ガ、唯世話ガ届カヌ、勸誘ガ届カヌ、何ヲ以テ私ハ其町村ノ學校ノ
 資本金出來ルカト云フト、近ク例ヲ引イテ申セバ、昨年ノ戰爭ニ就キマシ
 テ、郷里カラ出タ軍人ノ歡迎ノ事ニ就イテモ一例ニナル、彼ノ時ノ費用ハ如
 何デアアルト云フト、出征シマシタ所ノ軍人ノ歡迎ノ費用ト云フモノハ、ドウ
 積ツテモ各地ニ於テ地租ノ十分ノ二位ハ出シテアル、其中デ其地方ノ景況如
 何ト云フト、別ニツレヲ出シタカラト云ツテ、其地方ノ出金シタモノガ苦情
 ヲ鳴ラスデモナシ、相當ニ出シテ宜イト云フ考デアラシテ居ル、サスレバ此
 必要ナル所ノ教員ノ給料モ、時世ニ應ジテ増サナケレバナラヌ、從ツテ資本
 金モ募集シナケレバナラヌト云ツテ注意致シマスレバ、立ロニ此資本ハ出來
 ルモノト考ヘル、斯ウ論ジテ見マスルト云フト、此年功加俸ヲ國庫カラ補助
 シヤウト云フノハ、方法ノ求メ所ガ違ツテ居ル、殊ニ此租稅トシテ國庫ニ
 取ル所ノ金ト云フモノハ、ナカク人民ノ手ヨリシテ國庫ニ這入ルマデハ
 種々費用ガ掛リマス、先刻モ質問シタ所ガ、本年ノ十月末ニ於テ支給スル所
 ハ、殆ト十萬圓バカリノ金デアアルト云フトデアアル、是ハ最初ノ事デ、十五

箇年過ギテ後ハ、六十六萬圓以上ノ金ニナル、サウスルト國庫ノ收入ニ於
 テモ實ニ一ノ注意スベキ所ノ巨大ノ金ト云ハナケレバナラナイ、或ル一項
 目ノ徵稅ヲ除キマスレバ、此事ト云フモノハ成ラヌト云フ位ノモノデアアル、
 ナカク是ハ輕々ナル金デアアリマスモイト私ハ信ズル、サレバ則チ目下
 軍備擴張ト云ヒ、實ニ此國庫ニ於テモ費用ヲ要スルコトデ、新稅、增稅——
 種々諸君ニ於テモ御調査ニ苦慮ヲ盡シテ居ルトキニ當ツテ、斯ノ如キモノヲ
 出スノハ私ハ最モ贊成ノ出來マセヌ所デゴザイマス、ドウカ各員ニ於テモ十
 分ニ御熟考ヲ請ヒタク考ヘマスガ、殊ニ此演壇デ述ベマスノハ甚ダ如何シイ
 ガ、少シク當局者ニ願慮アラント請フ、凡ソ小學校ノ教員ノ各地ノ申請
 額ト云フモノト、實地渡スモノト如何ト云フト御考ヲ願ヒタイ、郡役所
 カラ縣廳へ書面上デ出ス額ト、實地ニ渡ス額トハ差ガアルノデアアル、果シテ
 其差ガ今日デモアル、然ル所ガ斯ノ如キ法案ガ成立チマスト云フト、私ノ恐
 レルノハ、ソレガ非常ノ事ガ到來スル、ナカク此豫算ノ金額デハ往カヌヤ
 ウナコトガ到來致スハ、誠ニ明々白々ト私ニハ分ツテ居ル、然ラバ則チ是ハ
 矢張前述ベマシタ通り、教員ノ不足ノタメニ或ハ勸續等ガ出來ヌト見マシタ
 ナラバ、其筋ノ府縣知事トカ郡長トカノ順次ニ手ヲ經マシテ、其指揮ヲ得テ
 學校ノ資本金ヲ增加シテ、サウシテ地方ノ獨立ノ精神ヲ妨ゲナケレバ、此文
 部大臣ノ憂フル所ノモノハ更ニ無クナツテ仕舞フト考ヘル、是ニ依ツテ私ハ
 大體ニ於テ否決スベキモノト考ヘル

○議長(楠木正隆君) 小室重弘君

(小室重弘君演壇ニ登ル)

○小室重弘君(八十八番) 諸君、此少數者ノ意見ニ對シテ私共ハ反對ノ考ヲ
 持ツテ居リマス、而シテ委員會ノ修正案ヲ甚ダ至當ナモノト考ヘテ居ル、極
 テ簡單ニ述ベテ置キマスガ、此少數意見ノ如キハ、駁倒スルニ吹ケバ飛ブガ
 如キ意見ト思ツテ居ル、其事ハ此案ノ中ニ就イテ能ク考ヘテ見ラレヨ、勸續
 ト云フ文字ヲ抜イテ仕舞ツテ、而シテ同一ノ學校ニ勸續スルト云フト此
 案ノ中カラ除イタナラバ、所謂骨抜キ鱈、糞ヲ以テ食フベシデアアル、五箇年
 同一學校ニ居ルト云フトハ、年功加俸ノ精神デアアル、骨髓デアアル、年功加
 俸ノ上ニ於テ最モ必要デアアルノデアアル、全體學校ノ教員ガ從來腰掛ケ教員ト
 世ノ中ニ唱ヘラレテ、殆ト下宿屋ニ出入スルガ如キ事柄デ、學校ニ入ルコト
 ガアル、ソレガタメニ此教育上ニ非常ノ害ガアルト云フトハ、我々ガ常ニ
 賭テ居ル事實デアアル、今ドナタカノ說ニ、教員ガ自カラ月給ノタメトニナル
 コトヲ求ムガタメニ、甲ノ學校カラ乙ノ學校ニ轉任スルモノガアル、ソレ
 ガ若シ五箇年ニ滿タズシテ四年十一箇月デ轉任スルモノガアル、ソレハ算盤ヲ執
 クルコトガ出來ヌヤウニナツテ氣ノ毒デアアルト言ハレタ、ソレハ算盤ヲ執
 テ見ルト分ル話デアアル、例ヘバ茲ニ二十圓ノ教員ガアツテ、十二圓ノ處ニ轉任
 スルトセバ、寧ロ年功加俸ヨリタメトナ給金ヲ取ルコトガ出來ル、則チ五箇
 年勤續ノ十圓ノ教員ハ、年功加俸一圓五十錢、即チ十一圓五十錢ニシカナラ
 ヌ、然ルニ十二圓價フトスレバ、却テ其人ハ轉任シタガタメニ自分ノ給金ヲ
 進メテ往クコトガ出來ルカラ、決シテ此年功加俸ノ法律ニ憾ヲ遺スコトハ一
 ツモナイコトニナル、若モ同一ノ學校ト云フト此中カラ取去レバドウデ
 ゴザイマセウカ、若シ然ラバ寧ロ國庫カラ全國ノ學校ノ教員ニ月給ヲ増シテ

ヤル、即チ教員俸給ノ増加案トカ云フモノニシテ出スガ宜シイ、サウデハナク、斯ノ如クニ五箇年同一ツノ學校ニ勤續シタモノニヤル、若シ此勤續ト云フコトヲ除ケバ、不人望デ其學校ニ居レバ、其學校ノ生徒ガ歸服セヌト云フ教員ガゴザリマシタラバ、其人ガ逐出サレル、ソレカラ他ノ學校ニ轉任シテモ、ソレデモ尙ホ同一ノ學校ト云フノヲ除ケバ、サウ云フ者デモ年功加俸ヲ受クルコトガ出來ルコトニナル、ドウデゴザイマセウ、コンナ分ラヌ事ハナイ、ソレカラ金岡君ノ說ニ、知事ガ教員ヲ配置シタリ、學校ニ配リ當テル上カラ、則チ他働ノ異動ノタメニ、此加俸ニ加テ往クコトガ出來ヌノハ甚ダ氣ノ毒デアアルト云フ、一應御尤ノ說デアアルガ、ソレハ既ニ救ツテアル、第五條ニ「學校ノ廢止若クハ學校編制ノ變更ニ因リ他ノ學校ニ轉任シ云々」トアツテ、斯ノ如キモノハ加俸ヲ受クルコトガ出來ル、即チ此五條ニ據ツテヤツテ往ケバ別ニ差支ナイ、知事ノ配置ト云フコトモ此範圍内ニ加ヘテ解釋シテ往クコトガ出來ルト思フノデアアル、ソレ故ニ私共ハ少數者ノ意見ノ如ク、一般ノ者ニ加俸シテ往クコトニハ決シテ服スルコトガ出來ヌ、田中君ノ御說ノ如キハ私ハ能ク聽クコトヲ誤ツタカ知ラヌガ、斯ウ云フ說ガアツタヤウデアアル、町村ノ獨立ノ精神ヲ失フトカ、或ハ父兄教育ノ義務ヲドウスルトカ、斯ウスルトカ云フヤウナ御說デアアツタガ、ソレハ一ト擱ニ言フト、田中君ノ御說ハ國立教育ト云フコトヲ打毀シテ、則チ市町村ト云フモノヲ教育ノ治外法權ノ範圍ニ指イテ、獨立のニスルト云フノデアアル、若シサウスルト一切ノ組織ヲ變ヘナケレバナラヌト云フコトニナルカラ、斯ノ如キ說ニハ吾吾ハ與ミスルコトガ出來ナイ、要スルニ私共ハ此委員會ノ修正案ヲ可トスルモノデアリマス、簡單ニ述ベテ置キマス

〔討論終結〕ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 討論盡キタリト認メマス、決議ヲ採リマス、該案ニ對シテ二讀會ヲ開クコトニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 大多數、二讀會ヲ開クコトニ決シマス

○吉本榮吉君(八十二番) 直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ希望シマス、序ニ申上ゲマス、是ハ反對ノ說モアツタガ、何レモ反對ノ說ニハ感ズルヤウナコトモナイ、サウスルト少數者ノ意見ト委員長ノ報告ト二ツニ止ル故ニ、讀會ヲ省略シテ確定議ヲセラレンコトヲ希望シマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 讀會ヲ省略スベシト云フ吉本君ノ動議ニハ御異議ナイト認メマス、議題ハ朗讀ヲ省イテ、第一條ヨリ第四條ニ至リマス

市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法案(政府提出) 確定議

○佐々木政次君(七十五番) 先刻第五條ニ付イテ申出シマシタ少數者ノ意見ヲ採ルトスレバ、第五條ニ修正ヲ加ヘヌケレバナラヌ、ソレニ就イテノ修正案ヲ提出シマス

○議長(楠本正隆君) 佐々木君、其場合ニ於テ登壇ヲ促シ申シマス、今ハ逐條ニナツテ居リマス、扱皆サンニ茲ニ御注意マデニ申シマスガ、少數者ノ意見ハ、議場ノ參考ノタメニ意見ヲ述ブルコトヲ得ルガ從來ノ慣例デアアル、其

意見ヲ議場ニ提出スルニハ、定數ノ贊成ヲ求ムルガ順序デアアル、即チ少數者ノ意見ニハ二十名ノ贊成ガナケレバナラヌ、贊成如何ヲ調査致シマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 即チ少數者ノ意見ハ議題ト爲リマシタ、茲ニ決議ヲ採リマス

○眞下珂十郎君(二百四十二番) 本員ハ少數者ノ意見ニ就イテ、少シク意見ヲ述ベタイト思ヒマス

○議長(楠本正隆君) 其席デ宜シイ

○眞下珂十郎君(二百四十二番) 先程田中君ヨリ申出サレテ御說モゴザイマシタケレドモ、此父兄ノ義務デアアルカラヤラナケレバナラヌ、又町村ハ自治ノ精神トシテヤラナケレバナラヌト云フ御說デアゴザイマスガ、本員モハ贊成デアアル、併ナガラ今日ノ學校ノ有様ト云フモノヲ願ヒマスルナラバ、教員ノ減ジテ居ルト云フコト、是ハモウ明カナコトデアアツテ、其教員ノ減ジテ居ルガタメニ、政府モ其事ニハ氣ガ附カレテ年功加俸ト云フ案ヲ提出サレタデゴザイマセウ、抑、此學校ノ設立シマシタ初ノ時分ニハ、舊藩士ト云フモノガ澤山ゴザイマシタルタメニ、先ヅ小都會デアゴザイマス田舎ノ小都會ニハ、澤山教員ガアル、斯ウ云フコトデアアル、又且其際ハ轉學ノ際デアゴザイマスカラ、政府モ十分ノ保護ヲ與ヘテ、文部省ヲ置イタ時分ハ、年々文部依託金ト云フモノモ出ル、地方稅ノ補助金ト云フモノモ出ルト云フ工合デ、ソレガタメニ學校ハ大ニ發達ヲ致シテカラニ、十分ニ教員ト云フモノハ殖エタ、其時分教員ノ給料ト云フモノト、町村ノ吏員ノ給料ト云フモノヲ比較シテ見マスルト、其時分ハ明治六七年デアゴザイマシタガ、町村吏員ノ中ニテモ、區長ノ如キハ一郡ヲ統轄シ居ルト云フヤウナ有様デ、平均百圓ノ給料ヲ取ル、副區長ト云フモノハ十五圓平均ノ給料デアアルト云フヤウナコトデアアリマシタ、又各村ノ戸長杯ハ年分ニ六圓位、副戸長ハ三圓位ノ給料デアアツタ、斯ウ云フ都合デアアリマシタカラ、教員ノ方ガ大分ニ割合ガ宜シイト云フノデア、教員ニナル人ガ澤山アツテ、教育ノコトハズツト振フテ參ツタト云フ有様デアリマス、又此十分ニ振フテ參ツタガタメニ、政府ノ保護ト云フモノハ、段々衰ヘテ參ツテ、遂ニ斯ウ云フ時節ニナツテ來テ、文部依託金ト云フモノモ無クナリ、地方稅ノ補助金ト云フモノモ止メ、町村モ成ルベク、マア其月謝杯ヲ以テ學校ノコトヲ維持シヤウト云フ有様ニナツタデアリマス、即チ此教員ト云フモノガ、段々ソレガタメニ減ツテ參ツタデアリマシタ、目今ノ雜誌アタリデ論ズル所ヲ見マスルト、此教員ノ給料ト云フモノヲ他ニ比較シテ見マスルト、船大工ガ先ヅ一箇月十圓、經師屋ハ九圓、大工ハ九圓、左官ハ九圓、陶器屋ハ八圓、仕立屋ハ十四圓、石工ハ十圓、木挽ハ九圓、建具屋ハ九圓、疊屋ハ九圓、其他ニモ澤山ゴザイマスガ先ヅ略シマシテ、文武判任官ハ十二圓、モ足リナイコトニナツテ居ル、教員ノ給料ト云フモノハ是ヨリ少イ、今日ハ七圓四十六錢ト云フ有様ニナツテ居ルノデア、シテ見マスルト、各府縣ノ巡查杯ノ平均額ヨリモ低イト云フ有様ニナツテ居ル、斯ウ云フ場合デアアル、是ガ一ツ教員ノ今日減ジタ所ノ例、又一ツハ此各府縣ノ學校ニ於キマシテ、全國師範學校ニ於テ造出シマスル所ノ生徒ト云フモノハ四千九百十七人、其卒業生ト云フモノハ九百二十五人ノ割合ヲ以テ

出來ル、之ヲ其各小學校ニ對シ割付ケテ見マスルト、丁度卒業生一人ニ對シ二百五十九校ト云フ割合ニナリマス、斯ウ云フ比例ニナリテ參ル

○小室重弘君(八十八番) 二百四十二番ノ御修正ハ、何條ノ御修正デゴザイマスカ

○眞下珂十郎君(二百四十二番) 是ハ少數意見ヲ確メルタメニ述ベルノデアリマス、少々御聽キ下サイ

ソレデ學齡兒童ノ數ト云フモノハ幾ラカト云ヘバ、三百五十七万二千六百四十二人、之ヲ左ノ教員ニ割當テマスルト、教員一人ニ就キ五千三百九十八人宛ヲ受テ居ル、又此公立學校ノ數ハ二万三千三百九十八人宛ノ割合ニテ居リマス、ソレデ斯様

ニ教員ノ少ナイト云フコトハ、事實ニ依テ明デゴザイマス、ソレデ此各府縣ニ於キマシテ檢定試験ト云フモノガゴザイマスルガ、檢定試験ノ合格ト云フモノハ殆ド四分ノ一シカ出來ナイヤウニ思フテ居リマス、デ、此檢定試験ト云フモノハ隨分重ウゴザイマスルガタメニ、ナカノ教員ガ出來ナイト云フ結果ニナリテ居ルカラ、慶應義塾ノ卒業生デアルトカ、京都ノ同志社ノ卒業生トカ、成城學校アタリノ卒業生ガ地方ニ參ッテ教員ノ試験ヲ受ケル、斯

ウ云フ有様ニナリテ參リマシテモナカノ落第ガ多クゴザイマシテ、及第者ガ少ナイト云フモノハ、教育學杯ニ就キマシテハ、大層高尚ナ哲學ノヤウナコトヲ持出シマシタリ、又化學上ノコトデゴザイマスル、實驗モシナケレバナラヌト云フヤウナコトモゴザイマス、其實驗ヲ致シマスルニ、一ツノ分析ヲ致シテ一ツノコトヲ得ヘルト云フヤウナコトハ、專門ノ業デゴザイマス、斯ウ云フコトニ就キマシテハ又別ニ專門ガゴザイマスガ、序ニ申上ゲテ置キマスルノハ、檢定試験ナドニ就キマシテハ、ドウカ普通學ニ涉ル人物ヲ以テ之ニ充テルガ宜カラウト云フ考ヘデゴザイマス、何トナレバ專門學ノ教員ガ幾人モ寄ッテスルト云フコトハ、大變遣リ方ガ不都合ト思ヒマス、是ハ政府ノ吏員ニ反省ヲ求ムルノデアリマス、斯ノ如キ都合ニ依ッテ、教員ト云フモノハ公立學校ニ五箇年以上勤ムルト云フコトニナリテ參リマスルト、大變ニ檢束ヲ加ヘテ參ル譯ニナル、デ、此學校ノ狀況ト云フモノハ、隨分此

出入ト云フモノガ多イ、先ヅ此地方ノ教員ガ學校ニ出テ少モ動カナイト云フ者ハ至ッテ少ナク、他ヲ歩クト云フ人ガ多イ、往來教員ト云フヤウナモノガ出テ、甚ダ不都合タト云フヤウナ説モアリマシタガ、ソレハ誠ニ九年ノ一毛デ極少イ、斯ノ如キモノハ自ラ社會ノ信用ヲ棄テ、仕舞フモノデゴザイマスカラ、斯ウ云フモノハ詰リ教員ノ年功金ヲ與ヘルコトガ出來ナイ、詰リ自然上カラ淘汰サレルト云フコトニナル、サウシテカラニ若シ此同一學校ニ教員ヲ長クシテ居ルト云フコト、ナリマスルト云フト、此郡區長ガ甲ノ學校ヨリ乙ノ學校ニ移シ、乙ノ學校ヨリ丙ニ移スベシト云フ、其事柄ニ就イテ大イニ躊躇スル所ガナケレバナラヌ、又アチカラ此方ニ移シ、此方カラアチラニ移スト云フコトヲ頻々シタラバ、詰リ教育ハ腐敗シテカラス、此自然ニ任セルト云フコトヲ頻々シタラバ、詰リ教育ハ腐敗シテカラス、此自然ニ任セルナラバ吾ハ何ヲカ言ハシマスルナラバ、吾ハ何ヲカ言ハシマス、自然ニ任セルノ地ニ適スル人トソレ是レ順序ヲ操替ヘマシテ、彼方此方ト交換サセ

ルコトデゴザイマセケレバ、地方ノ教育ノ發達スルコトハ到底得ベカラザルコトデアアル、詰リ此……(聲ガ大キクナクテハ贊成ガ出來マセヌ)ト呼フ者アリ、斯ノ如キコトデゴザイマスカラ、同一ノ學校ニ居ルト云フコトデゴザイマスルト、所謂教育ノ進歩ガ遲ウゴザイマスル、皆サン御飽キノヤウナ

語氣モゴザイマスカラ、成ルベク簡略ニ約メテ申シマス、サウシテ此斯ノ如ク致シタラバ、大層教育費ガ殖エルト云フ嫌ガゴザイマセウガ、併ナガラ能ク考ヘテ見マスルト、此日本ノ歲入ト云フモノニ對シマシテ、英國ガ九分二厘強、佛國ガ五分七厘強、李瀾生ガ五分五厘強、伊太利ハ二分四厘強、澳地利ガ二分三厘強、露西亞ガ二分三厘強、日本ガ一分一厘強ト、斯ウ云フコトニ各國ニ比例シテ、教育費ハ相成ッテ居ルノデゴザイマスカラシテ、モソト國庫ヨリシテ支出シマシタカラト云フテ更ニ差支ハナイ、モソツト保護致シマスルノガ今日必要デアラウ、是非シナケレバナラヌコト、思ヒマス、最初抑、干渉シタ所ノ有様ト云フモノガ中頃衰ヘマシテ、今日又セヌナラス、今日ノ場合トナシタノデゴザイマスカラ、斯ノ如ク同一學校ト云フコトヲ除キマシテ、サウシテ修正ヲ致スト云フコトハ、最モ相當デアラウト考ヘマスル、此事ヲ……

○議長(楠本正隆君) 第一條ノ少數者ノ「同一學校」ト云フ五字ヲ削ル修正案、決議ヲ採リマス、右ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 少數ト認メマス——第一條ヨリ四條マデハ原案通ニテ御異議ナイト見テ宜シウゴザイマスカ

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 次ハ第五條ヨリ十條マデヲ議題ト爲シマスル

○小幡儼太郎君(二十二番) 已ヲ得デ政府委員ニ一應質問致シマス、此八條ニ町村學校組合トゴザイマスガ、此通デアリマスレバ甲乙トマア數校アリマスル、ソレヲ云フタ鹽梅ニ相成リマセウカ、ソレデ解釋ハ宜シウゴザイマスカ、一應確メマス

(政府委員文部省普通學務局長木場貞長君演壇ニ登ル)

○政府委員(木場貞長君) 少シ聽取リ兼ネマシテゴザイマスカラ、モウ一應ドウカ……

○小幡儼太郎君(二十二番) 此學校組合デアリマス、市町村、町村學校組合トアリマスガ、此組合ト申スノハ學校ノ組合デアリマスカ、組合ノ學校デアリマスルカラ承リタイ

○政府委員(木場貞長君) 普通ノ組合ノ外ニ、町村學校組合ト云フノガ今日ノ制度ニ在ルノデゴザイマス、ソレデ此處デ申シマスルノハ、學校ノタメニ設ケラレタ所ノ町村學校組合デアリマスル

○小幡儼太郎君(二十二番) ソレデハ市町村杯デ一學校ヲ設ケタ……

○政府委員(木場貞長君) 一學校、若クハ二學校ヲヘタコトモアリマス

○小幡儼太郎君(二十二番) 然ラバ、是ハ二學校ヲハラニナリマスノデ、ドウ致シテモ顛倒シテ居ラウト考ヘマス、ソレ……

○政府委員(木場貞長君) 地方學事通則ニ、法律ノ文句ガ町村學校組合トアツテ、今日ノ組合ニナリテ認可ニナリテ居リマス

○小幡儼太郎君(二十二番) 組合學校トアリマスレバ、成ル程政府委員ノ御説ノ通デアリマスガ、學校ノ組合トアリマスルト云フト、數校アツテモ、其數校外ノヤウニドウシテモ見エマス

○政府委員(木場貞長君) 御答致シマスガ、御尋ノ精神ハ分リマシテゴザイマス、ソレハ學校ノ方カラ起サズニ、學校ヲ建テ、居ル所ノ法人ノ方カラ起シタノデゴザイマス、ソレ故ニ市町村、町村學校組合ト、斯ウ受ケタノデ、

其學校ト云フ方デ給セシムル立案デ、法人ノ方ヲ抑ヘタノゴザイマス
 ○田邊久藏君(二百四十番) 此六條ニ修正ガアリマス、本員ノ考デハ矢張政
 府案ノ通ノ方宜カラウト考ヘマス、委員會ノ修正ニシマスルト、兵役ヲ終
 リタル後九十日以内ニ學校ヘ出テマシムル云々精神ニナツテ居リマス、ツレデ
 ハ第一條ノ矢張同一ノ學校ニ勤續セルト云フ反對スル修正ニナリマス、故ニ
 私ハ矢張此政府案ノ通ノ方宜カラウト考ヘマス、第五條ハ委員ノ修正ニ御
 異議ハアリマセヌカ

○草刈親明君(二百三十一番) 第六條ノ修正ニ贊成シマス
 ○金岡又左衛門君(百六十番) 此場合ニハ少シク、先程佐竹君ガ報道ニナリ
 マシタガ、尙一應辯シテ置キタイト思ヒマス、ドウモ唯今トナカノ何ニハ
 マダ少シク、六條ノ委員ノ修正ヲ能ク御分リガナカッタ故ニ、斯ノ如キコト
 ヲ言ハレシノデアラウト思ヒマスカラ、一應六條ノ……
 ○議長(楠本正隆君) 金岡君ハ、敷衍ヲシテ修正ノ意味ヲ御辯明ニナリマス
 カ

(「モウ分ッテ居ルカラ宜シウゴザイマセウ」ト呼フ者アリ)
 ○金岡又左衛門君(百六十番) ツンナラヨシマセウ
 ○議長(楠本正隆君) 第十五條委員ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立
 起立者 多數
 ○議長(楠本正隆君) 大多數——次ハ第六條、是ニハ反對ガゴザイマスルカ
 ラ、委員ノ修正デ決議ヲ採リマスル、委員ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立
 起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 是又大多數、以下ハ第十條迄御動議ナキヲ以テ、原案
 ノ通確定ヲ報ジマスル——是ニテ確定議ヲ報ジマスル
 ○吉本榮吉君(八十二番) 今ノハ二讀會デアリマスカ
 ○議長(楠本正隆君) 吉本君ノ讀會省略デ、確定ヲ報ジマシタ、次ハ第七、八、學
 校職員ノ退隱料ニ關スル法律案、該案ニハ修正モアリマセヌ、全部ヲ議題ニ
 供シマス、佐竹正詮君

第六 公立學校職員退隱料等ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

○議長(楠本正隆君) 別段委員長ノ報告モゴザイマセヌ
 ○吉本榮吉君(八十二番) 委員長ノ報告ハナイノデアリマスカ、ナイナラバ
 委員ノ報告通り、即チ原案確定ガ宜シイノデアリマス、是ガ委員會ノ報告デ
 ゴザイマセウ、就キマシテハ讀會ヲ省略シテ、直チニ……
 ○議長(楠本正隆君) 該案ハ讀會省略ノ動議ガゴザイマス——御異議ナイト
 認メマス
 (「贊成々々」ト呼フ者アリ)

公立學校職員退隱料等ニ關スル法律案 確定議
 ○議長(楠本正隆君) 而シテ茲ニ於テ御動議ナキヲ以テ、確定ヲ報ジマスル、
 次ハ船造材料資金ニ關スル法律案
 第七 鎮守府造船材料資金增加ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

○議長(楠本正隆君) 委員長谷河尙忠君
 (谷河尙忠君演壇ニ登ル)

○谷河尙忠君(十番) 御報告ヲ致シマスル、本案ハ一月十八日ニ諮問會ヲ開
 キマシタ、二月一日ニ又開會ノ上ニ、其日直様決定致シマシタ、是ハ御手許
 二週シマシタ通、本院ニ於テ可決スベキモノト委員會デハ決議致シマシタ、
 其理由ハ元來此法律ハ元ト帝國議會開設以前カラ、此造船材料ヲ段々引續
 キマシタモノデアリマシテ、明治二十三年ノ法律十九號デ現行ノ法律トナ
 テ居リマス、其金額ハ、物品額ト云フモノニナツテ居リマス、然レハ本年
 マデハ百三十二万四千幾圓ト云フモノニナツテ居リマス、然レハ本年
 十七八兩年ノ戰爭ノ經歷ニ依リマシテ、進モ是ダケノ金デハ不足デアラ
 フコトヲ當局者ハ認メマシタ、將來ニ向テ増額ヲ求メテ來タノデアリマ
 ス、其増額ハ二十九年度ヨリ二十一年度マデ三箇年ノ間ニ、此法案ニ出テ
 居リマスル百四十五万幾圓ト云フモノヲ增加スルト云フデアリマス、然
 ルニ此内、是迄ノ百三十二万四千幾圓ト云フモノヘ百四十五万幾圓ヲ增加シ
 テ、其内二百萬圓ト云フモノハ、一般ノ艦船修造ニ充ツル材料資金デアリマ
 ス、其餘リ七十八万圓ト云フモノハ、現在ニアル所ノ軍艦ニ對スル材料準
 備ノ資金デアリマス、是マデ段々此明治二十三年ニ基テ立テマシタ所
 ノ百三十二万四千幾圓、追々此修繕ノ間ニ合セテハ來マシタケレドモ、軍
 艦モ多クナリ、又此戰爭ノ經歷ニ依リマシテ、是ダケノ材料ノ準備ガナケレ
 バ、ドウシテモ安心シテ居ラレヌト云フ所ノ當局者ノ說明ヲ聽キマシテ、勿論
 將來ノ海軍擴張、軍艦ノ製造モ致シマシタ場合デアレバ、旁々以テ政府案ノ通
 可決スルヨリ外アルマイト云フ、概略委員會ノ意見デアリマシテ、委員一致
 デ此事ハ可決致シマシテゴザイマス、ドウカ諸君ニモ御贊成アラントヲ希
 望致シマス

○吉本榮吉君(八十二番) 是モ同様、讀會ヲ省略シテ決議アラントヲ……
 ○議長(楠本正隆君) 讀會省略ノ動議ガ吉本君ニ依ッテ出サレマシタ、且ツ
 該案ハ御動議ナキヲ以テ、確定ヲ報ジマス——明日ノ議事日程ヲ報ジマス
 (佐脇書記官朗讀)

議事日程 第二十二號 明治二十九年二月七日(金曜日)
 午後一時開議

- 第一 營業滿期國立銀行處分法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第二 國立銀行紙幣ノ通用及引換期限ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第三 國立銀行營業滿期前特別處分法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第四 鎮守府銀行紙幣交換基金特別會計法第五條中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第五 司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第六 明治二十八年勅令第四百四十四號(政府提出貴族院送付承諾ヲ求ムル件) (特別委員) 第一讀會
- 第七 官吏恩給法及官吏遺族扶助法補則法律案(貴族院提出) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(楠本正隆君) 是デ散會ヲ報ジマスル
 午後三時三十七分散會